

# 兵庫県住宅再建共済制度に関する調査結果報告書

平成18年12月

兵 庫 県

財団法人兵庫県住宅再建共済基金

# 目 次

I	調査の概要について	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
	（1）調査地域	1
	（2）標本数	1
	（3）調査方法	1
	（4）調査時期	1
	（5）その他	1
3	回収結果	1
	（1）全県	1
	（2）地域別	1
4	標本抽出方法	2
	（1）加入者	2
	（2）県民	2
II	調査の結果について	4
1	加入者	4
	（1）加入動機	4
	（2）加入申込書兼パンフレットのわかりやすさ	7
	（3）満足度	9
	（4）制度内容の詳細の理解	10
	（5）認知経路	12
	（6）加入申込書入手先	15
	（7）他の人への推奨の意向	17
	（8）回答者の属性	18
2	未加入者	22
	（1）制度の認知度	22
	（2）認知経路	25
	（3）将来加入の意向	28
	（4）加入したい理由	32
	（5）加入したいと思わない理由	35
	（6）他の人への推奨の意向	39
	（7）回答者の属性	40
	資料：調査票	44

# I 調査の概要について

## 1 調査の目的

兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)は、阪神・淡路大震災で学んだ教訓「助け合いの大切さ」を生かした住宅所有者間相互の「共助」の仕組みとして、平成17年9月1日から制度を開始した。

本調査は、制度への加入の有無、加入者の加入動機、満足度、制度の認知度、未加入の理由などを調査し、地域や年代別に分析することにより、効果的な広報・加入促進策に反映させることを目的とする。

## 2 調査対象

- (1) 調査地域 兵庫県全域
- (2) 標本数
- ① 住宅再建共済制度加入者 2,000人
  - ② 兵庫県内で住民基本台帳に登録している県民 2,900人
- (3) 調査方法 郵送法(葉書による督促1回)
- (4) 調査時期 平成18年10月12日から10月30日
- (5) その他 世帯主による回答を依頼した。

## 3 回収結果

### (1) 全県

	加入者	県民			合計
		加入者	未加入者	小計	
送付数(件)	2,000	—	—	2,900	4,900
回答数(件)	1,076	124	567	691	1,767
回収率(%)	53.8	—	—	23.8	36.1

### (2) 地域別

	送付数			回収数				合計
	加入者	県民	合計	加入者	県民		合計	
					加入者	未加入者		
神戸	200	300	500	106	14	65	79	185 (37.0%)
阪神南	200	300	500	109	6	52	58	167 (33.4%)
阪神北	200	300	500	123	4	65	69	192 (38.4%)
東播磨	200	300	500	107	8	45	53	160 (32.0%)
北播磨	200	300	500	103	6	59	65	168 (33.6%)
中播磨	200	300	500	100	6	57	63	163 (32.6%)
西播磨	200	300	500	100	19	54	73	173 (34.6%)
但馬	200	300	500	104	15	71	86	190 (38.0%)
丹波	200	200	400	91	13	34	47	138 (34.5%)
淡路	200	300	500	94	17	56	73	167 (33.4%)
不明	—	—	—	39	16	9	25	64 —
合計	2,000	2,900	4,900	1,076	124	567	691	1,767 (36.1%)

## 4 標本抽出方法

### (1) 加入者

#### ① 母集団

兵庫県住宅再建共済制度の加入者を母集団とした。

#### ② 標本配分

各地域ごとに200の標本を配分した(合計2,000人)。

#### ③ 抽出方法

層化二段抽出法により対象者を抽出した。

##### a 母集団をいくつかの層(グループ)に分類(層化)

今回調査では、加入者を県民局単位の地域に分類

##### b 地域的単位により、調査対象市町を抽出(第1次抽出)

今回調査では、各地域から7月1日時点で加入率が最も高い市町、最も低い市町、中間の市町を抽出

##### c 調査地点の中から、対象者を無作為抽出(第2次抽出)

今回調査では、対象市町の加入者リストから対象者を無作為抽出

### (2) 県民

#### ① 母集団

兵庫県内で住民基本台帳に登録している県民を母集団とした。

#### ② 標本配分

各地域ごとに300(丹波地域においては200)の標本を配分した(合計2,900人)。

#### ③ 抽出方法

層化多段抽出法により対象者を抽出した。

##### a 母集団をいくつかの層(グループ)に分類(層化)

今回調査では、加入者を県民局単位の地域に分類

##### b 地域的単位により、調査対象市町を抽出(第1次抽出)

今回調査では、各地域から7月1日時点で加入率が最も高い市町、最も低い市町、中間の市町を抽出

##### c 対象市町から調査対象地点を抽出(第2次抽出)

今回調査では、市町の地図上にメッシュを切って、10の調査対象地点を抽出  
調査対象地点は、無作為抽出を基本とし、抽出した地点ができるだけ一戸建と集合住宅の比率等市町の実情に近くなるように調整しながら抽出

##### d 調査地点の中から、対象者を無作為抽出(第3次抽出)

今回調査では、基本単位ごとに住民基本台帳から対象者を無作為抽出

《地域区分》（平成18年12月1日現在）

神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町
丹波	篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

## II 調査の結果について

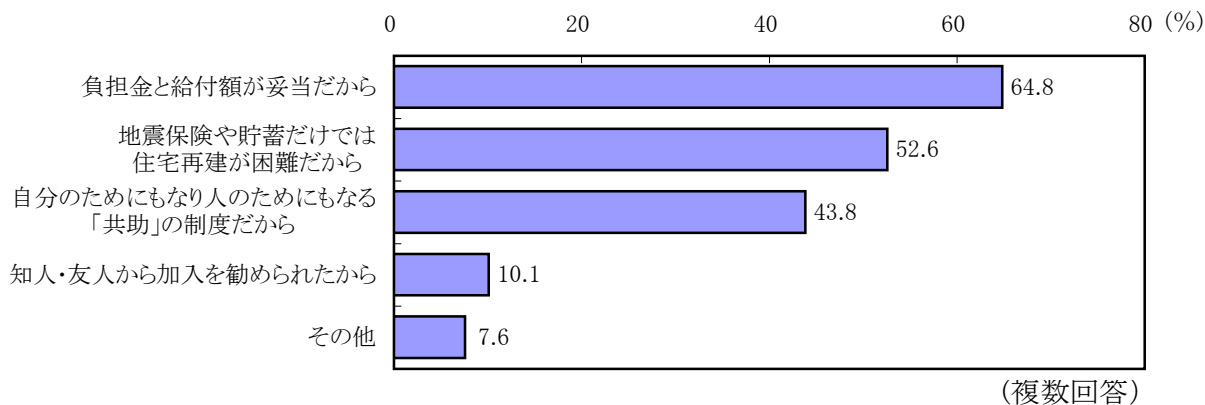
### 1 加入者

#### (1) 加入動機

☆「負担と給付が妥当」(約6割)、「保険や貯蓄だけでは再建が困難」(約5割)、「共助の制度だから」(約4割)が上位  
 ☆年齢層が高いほど「共助の制度だから」が多い傾向

制度に既に参加している人の加入動機は、「負担金と給付額が妥当だから」(64.8%)という理由が最も多く、次いで「地震保険や貯蓄だけでは住宅再建が困難だから」(52.6%)、「自分のためにもなり人のためにもなる『共助』の制度だから」(43.8%)などが多くなっている。

地域別にみると、「負担金と給付額が妥当だから」という理由が阪神南、阪神北及び北播磨で7割を超えて最も多くなっている。また、「地震保険や貯蓄だけでは住宅再建が困難だから」は神戸、阪神北、淡路で約6割、「自分のためにもなり人のためにもなる『共助』の制度だから」が東播磨と但馬で約5割となっており、他地域よりも多くみられる。「知人・友人から加入を勧められたから」という口コミタイプは西播磨と丹波に比較的多い。



[地域別]

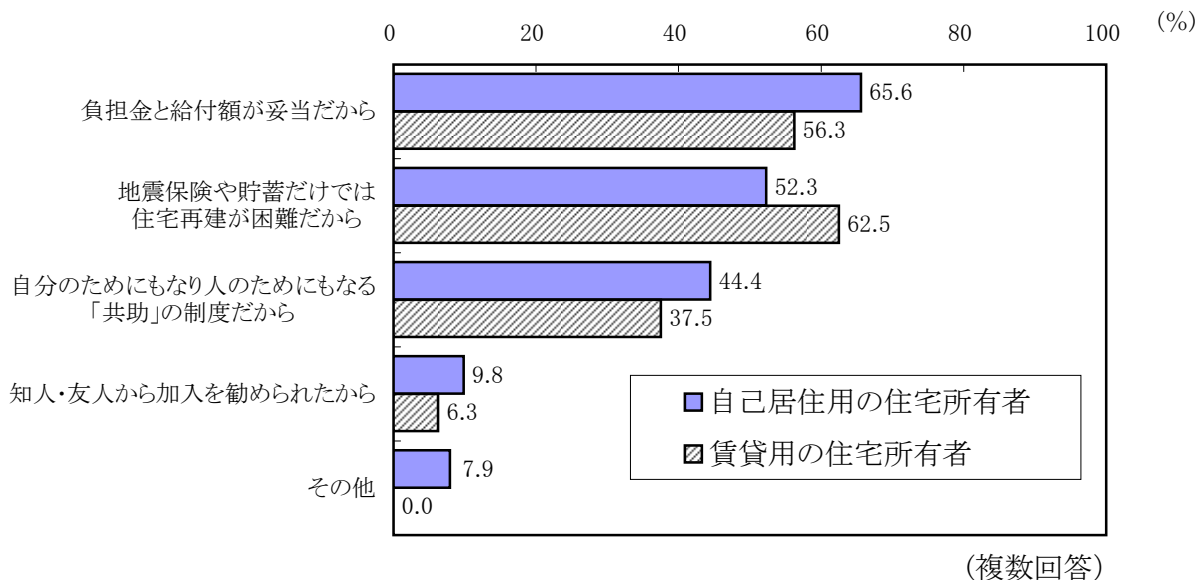
	全 体 (人) (%)	負担金と給 付額が妥 当だ から	地震保険や 貯蓄だけ では住宅 再建が 困難だ から	自分のため にもなり 人のため にもなる 「共助」 の制度 だから	知人・友人 から加入 を勧め られた から	その他	不明
合計	1200 100.0	778 64.8	631 52.6	526 43.8	121 10.1	91 7.6	22 1.8
神戸地域	120 100.0	78 65.0	74 61.7	56 46.7	9 7.5	9 7.5	2 1.7
阪神南地域	115 100.0	85 73.9	61 53.0	51 44.3	5 4.3	10 8.7	1 0.9
阪神北地域	127 100.0	97 76.4	75 59.1	56 44.1	8 6.3	8 6.3	2 1.6
東播磨地域	115 100.0	78 67.8	62 53.9	58 50.4	3 2.6	7 6.1	1 0.9
北播磨地域	109 100.0	78 71.6	58 53.2	46 42.2	5 4.6	10 9.2	2 1.8
中播磨地域	106 100.0	71 67.0	45 42.5	43 40.6	14 13.2	8 7.5	0 0.0
西播磨地域	119 100.0	75 63.0	58 48.7	55 46.2	23 19.3	13 10.9	1 0.8
但馬地域	119 100.0	63 52.9	53 44.5	64 53.8	11 9.2	9 7.6	2 1.7
丹波地域	104 100.0	59 56.7	52 50.0	46 44.2	18 17.3	7 6.7	5 4.8
淡路地域	111 100.0	70 63.1	67 60.4	31 27.9	14 12.6	7 6.3	3 2.7
その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

(複数回答)

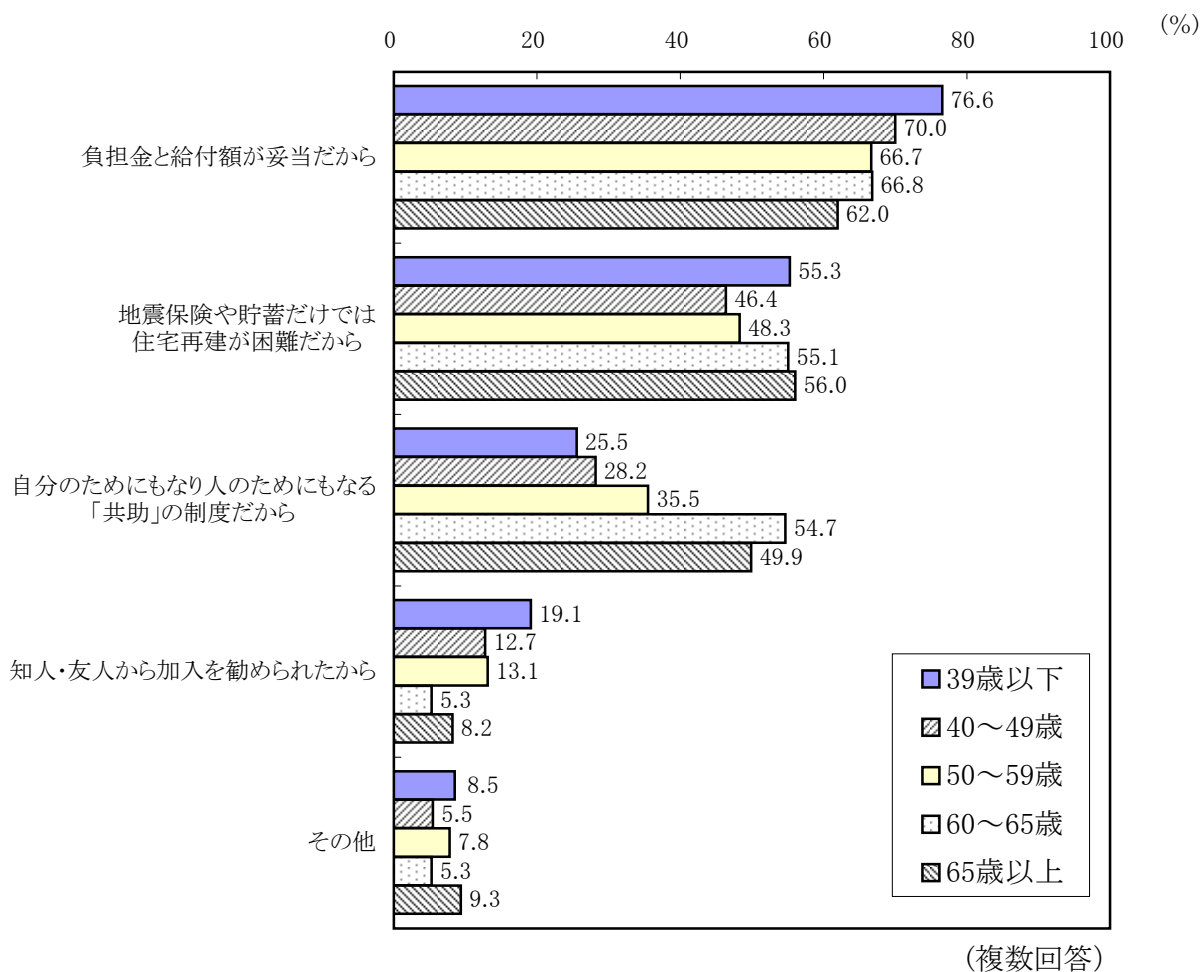
住宅の状況別にみると、自己居住用の住宅所有者では「負担金と給付額が妥当だから」が最も多く65.6%、一方、賃貸用の住宅所有者では「地震保険や貯蓄だけでは住宅再建が困難だから」が62.5%と最も多い理由であった。

また、年齢別にみると「負担金と給付額が妥当だから」は年代が若いほどこの理由を選ぶ傾向が強く出ている。「自分のためにもなり人のためにもなる『共助』の制度だから」は、概ね年齢が高いほどそれを理由とする傾向がある。

〔住宅の状況別〕



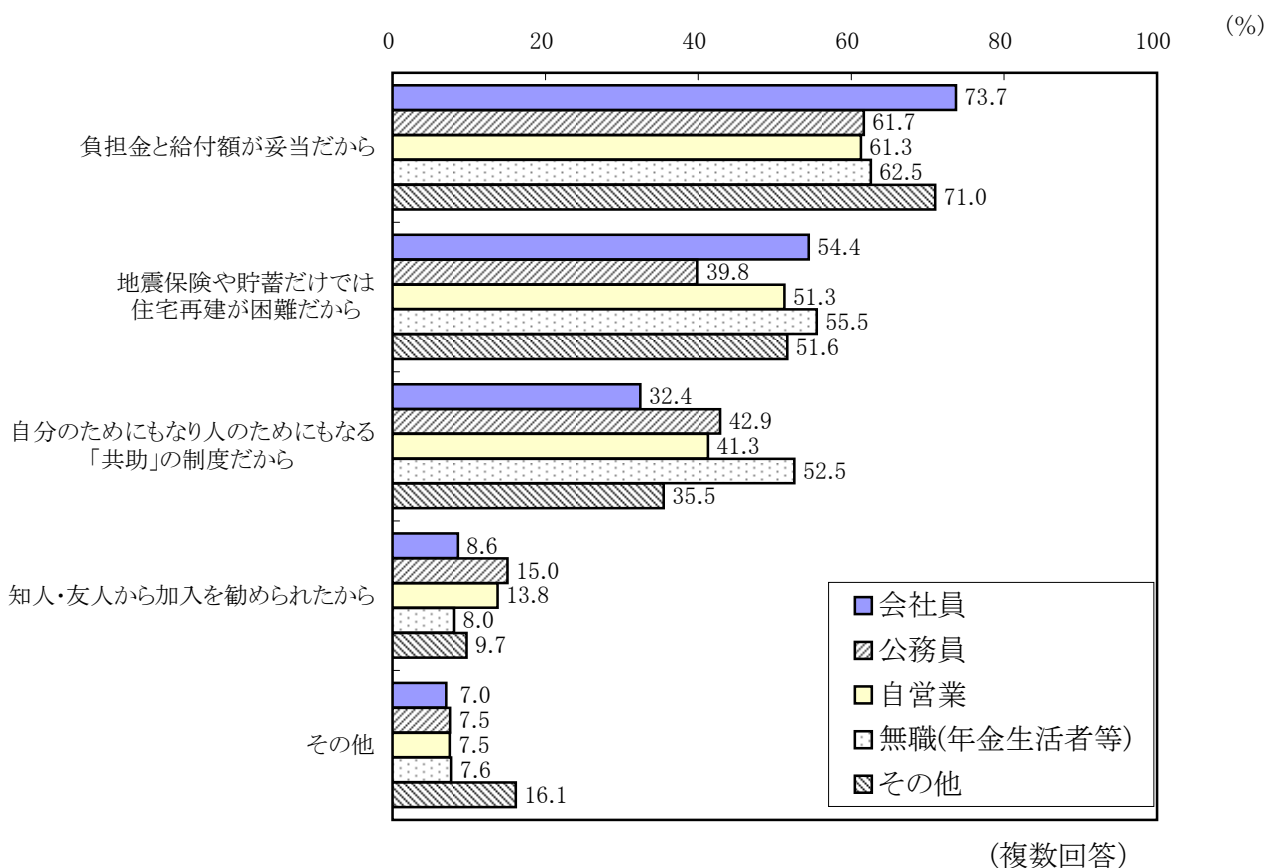
〔年齢別〕



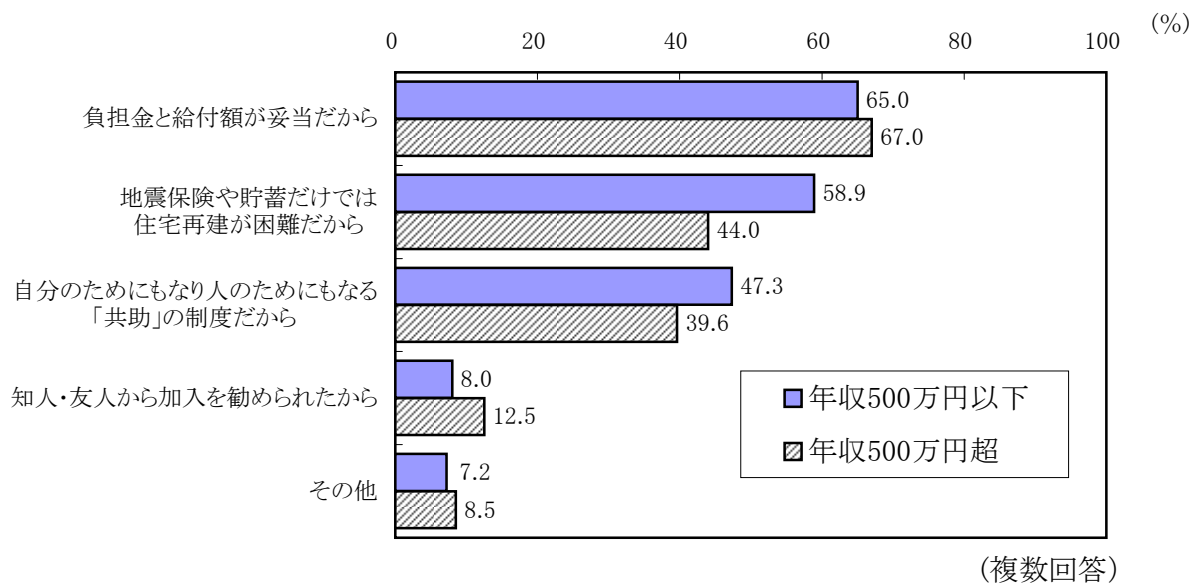
加入の動機を職業別にみると、「負担金と給付額が妥当だから」は会社員が73.7%と最も多く、「自分のためにもなり人のためにもなる『共助』の制度だから」は無職が52.5%と多くなっている。

年収別にみると、年収500万円以下の世帯では、「地震保険や貯蓄だけでは住宅再建が困難だから」が58.9%、「自分のためにもなり人のためにもなる『共助』の制度だから」が47.3%で年収500万円超の世帯より多くなっている。

〔職業別〕



〔年収別〕



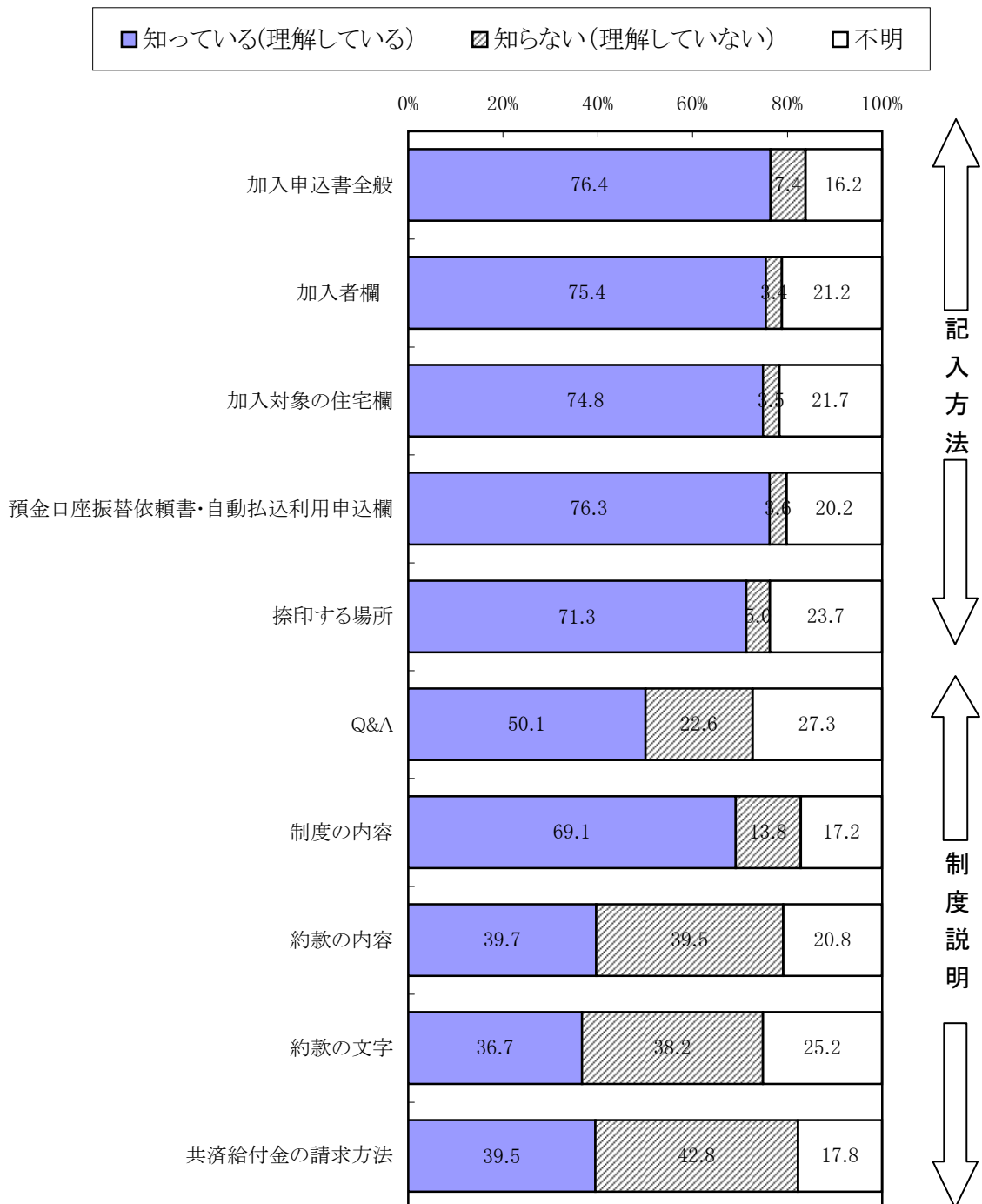


(2) 加入申込書兼パンフレットのわかりやすさ

☆加入申込書の記入方法については、回答者の4分の3が「知っている(理解している)」と回答  
 ☆パンフレット部分のわかりやすさについては、「知っている(理解している)」が4割程度

加入申込書の記入方法については、「加入申込書全般」や「加入者欄」、「加入対象の住宅欄」、「預金口座振替依頼書等」は、「知っている(理解している)」と回答した人の割合が高く、概ね4人中3人が回答している。

制度説明のわかりやすさ(パンフレット部分)については、「制度の内容」については約7割が「知っている(理解している)」と回答しているものの、「約款の内容」「約款の文字」「共済給付金の請求方法」について、「知っている(理解している)」の回答が4割程度となっている。



年齢別では、加入申込書の記入方法については40代を中心に「知っている(理解している)」という回答が多いが、制度説明のわかりやすさについては、40代から50代を中心に「知らない(理解していない)」という回答が多くなっている。

〔年齢別〕		〔%〕					
	(人)	加入申込書全般			加入者欄		
		知っている	知らない	不明	知っている	知らない	不明
合計	1200	76.4	7.4	16.2	75.4	3.4	21.2
39歳以下	47	76.6	8.5	14.9	74.5	4.3	21.3
40～49歳	110	80.9	10.9	8.2	80.9	2.7	16.4
50～59歳	321	78.2	7.2	14.6	77.9	2.8	19.3
60～65歳	247	78.9	6.5	14.6	79.4	3.2	17.4
65歳以上	439	73.6	6.8	19.6	71.5	3.6	24.8
		加入対象の住宅欄			預金口座振替依頼書 (自動払込利用申込欄)		
		知っている	知らない	不明	知っている	知らない	不明
合計	1200	74.8	3.5	21.7	76.3	3.6	20.2
39歳以下	47	72.3	6.4	21.3	72.3	6.4	21.3
40～49歳	110	80.9	2.7	16.4	77.3	4.5	18.2
50～59歳	321	76.6	3.7	19.6	76.6	3.7	19.6
60～65歳	247	77.3	3.6	19.0	79.8	3.6	16.6
65歳以上	439	72.0	3.0	25.1	75.2	2.7	22.1
		捺印する場所			Q&A		
		知っている	知らない	不明	知っている	知らない	不明
合計	1200	71.3	5.0	23.7	50.1	22.6	27.3
39歳以下	47	68.1	8.5	23.4	48.9	27.7	23.4
40～49歳	110	74.5	8.2	17.3	54.5	26.4	19.1
50～59歳	321	73.2	4.7	22.1	50.8	25.9	23.4
60～65歳	247	74.5	5.3	20.2	55.5	21.1	23.5
65歳以上	439	69.5	3.4	27.1	46.2	19.6	34.2
		制度の内容			約款の内容		
		知っている	知らない	不明	知っている	知らない	不明
合計	1200	69.1	13.8	17.2	39.7	39.5	20.8
39歳以下	47	72.3	10.6	17.0	42.6	38.3	19.1
40～49歳	110	73.6	14.5	11.8	43.6	42.7	13.6
50～59歳	321	72.3	16.5	11.2	34.0	48.3	17.8
60～65歳	247	74.1	13.0	13.0	47.8	36.4	15.8
65歳以上	439	64.7	11.6	23.7	39.6	33.7	26.7
		約款の文字			共済給付金の請求方法		
		知っている	知らない	不明	知っている	知らない	不明
合計	1200	36.7	38.2	25.2	39.5	42.8	17.8
39歳以下	47	44.7	36.2	19.1	38.3	46.8	14.9
40～49歳	110	38.2	45.5	16.4	33.6	50.0	16.4
50～59歳	321	32.7	44.9	22.4	36.4	50.2	13.4
60～65歳	247	44.5	34.8	20.6	47.4	39.3	13.4
65歳以上	439	35.3	33.5	31.2	40.5	36.4	23.0

### (3) 満足度

☆満足度は10点満点中、「安心感」6.0点、「助け合いへの参加」6.4点の評価

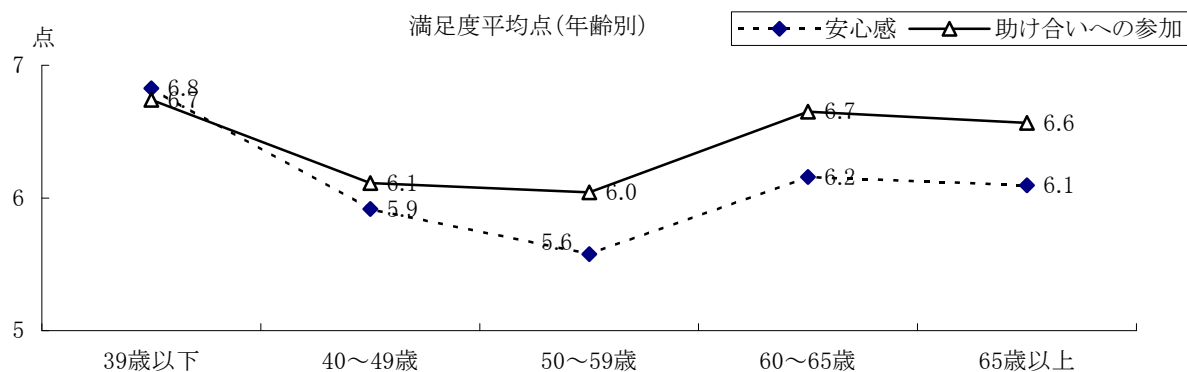
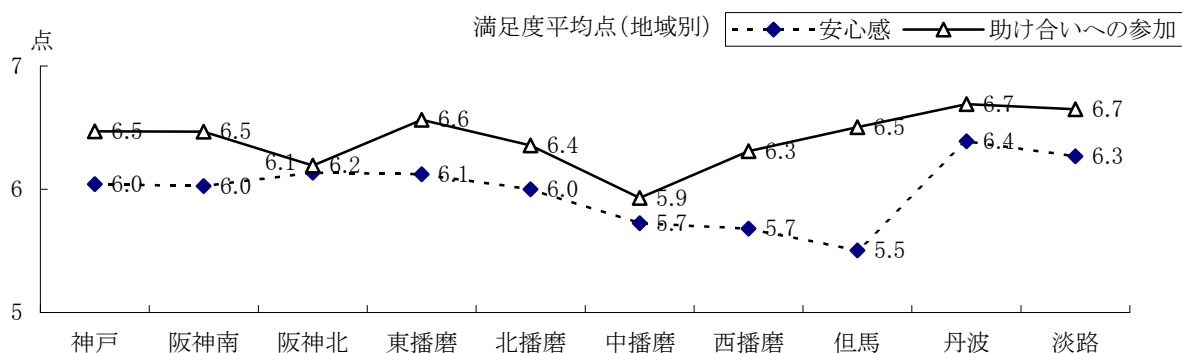
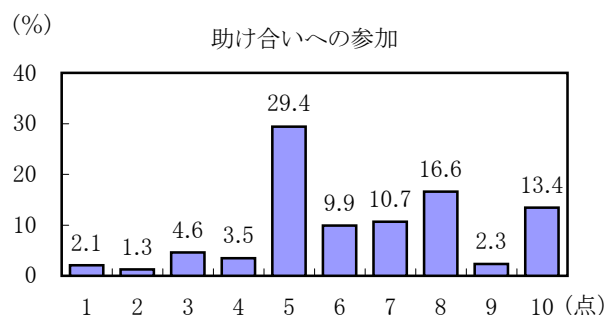
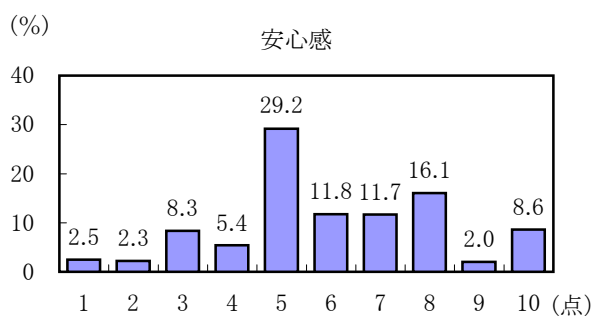
制度に加入して、どの程度満足感を感じているかを10点満点で評価してもらったところ、「A 安心感」については平均6.0点、「B 助け合いへの参加」については平均6.4点となり、どちらも「やや満足」という評価となっている。

地域別に平均点をみると、阪神北では「A 安心感」と「B 助け合いへの参加」に対する満足度がほぼ同じであるのに対し、但馬では「B 助け合いへの参加」に対する満足度は高いものの「A 安心感」では低く、最も差が大きい。

年齢別では、39歳以下ではどちらも6点台後半で他の年代よりも高いが、40代から50代にかけて満足度は下がり、60代以上でやや高くなっている。

[満足度(度数分布)]

	全体	満足度(%)										不明	平均(点)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
A 安心感	100.0	2.5	2.3	8.3	5.4	29.2	11.8	11.7	16.1	2.0	8.6	2.3	6.0
B 助け合いへの参加	100.0	2.1	1.3	4.6	3.5	29.4	9.9	10.7	16.6	2.3	13.4	6.3	6.4

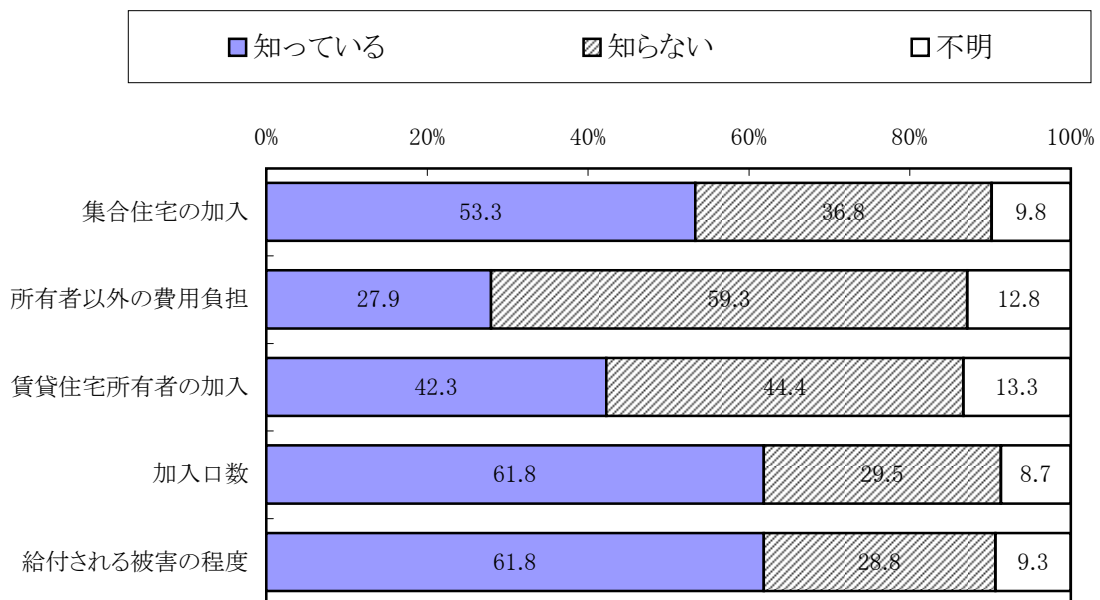


#### (4) 制度内容の詳細の理解

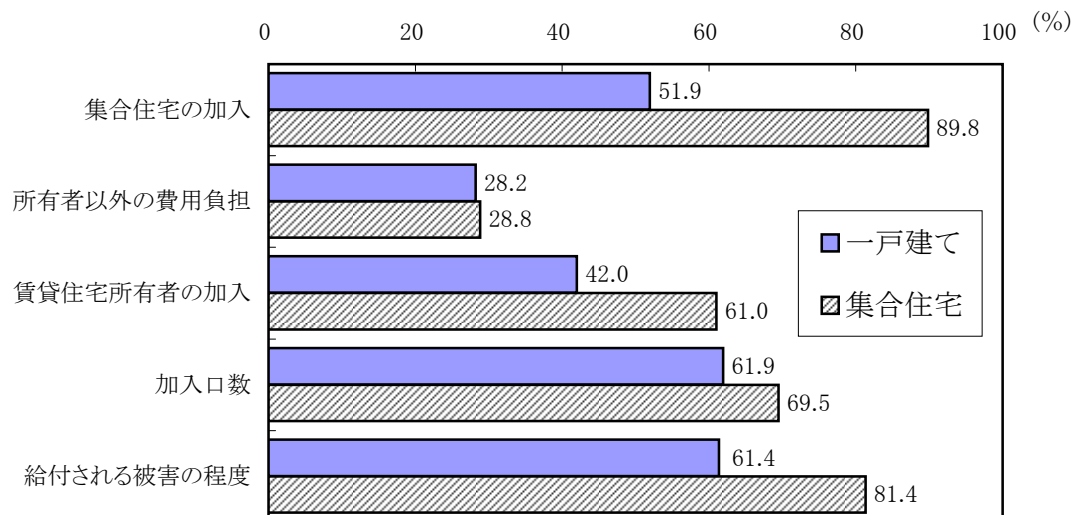
☆「加入口数」、「給付される被害の程度」は約6割が理解  
 ☆「所有者以外の費用負担」については約3割、「賃貸住宅所有者の加入」については約4割が理解

制度内容の詳細の理解についてたずねると、「加入口数」や「給付される被害の程度」などについては6割以上が「知っている」としているが、「集合住宅の加入」(53.3%)や、「賃貸住宅所有者の加入」(42.3%)ではやや低く、「所有者以外の費用負担」については「知っている」が27.9%に対し「知らない」が59.3%と2倍以上になっている。

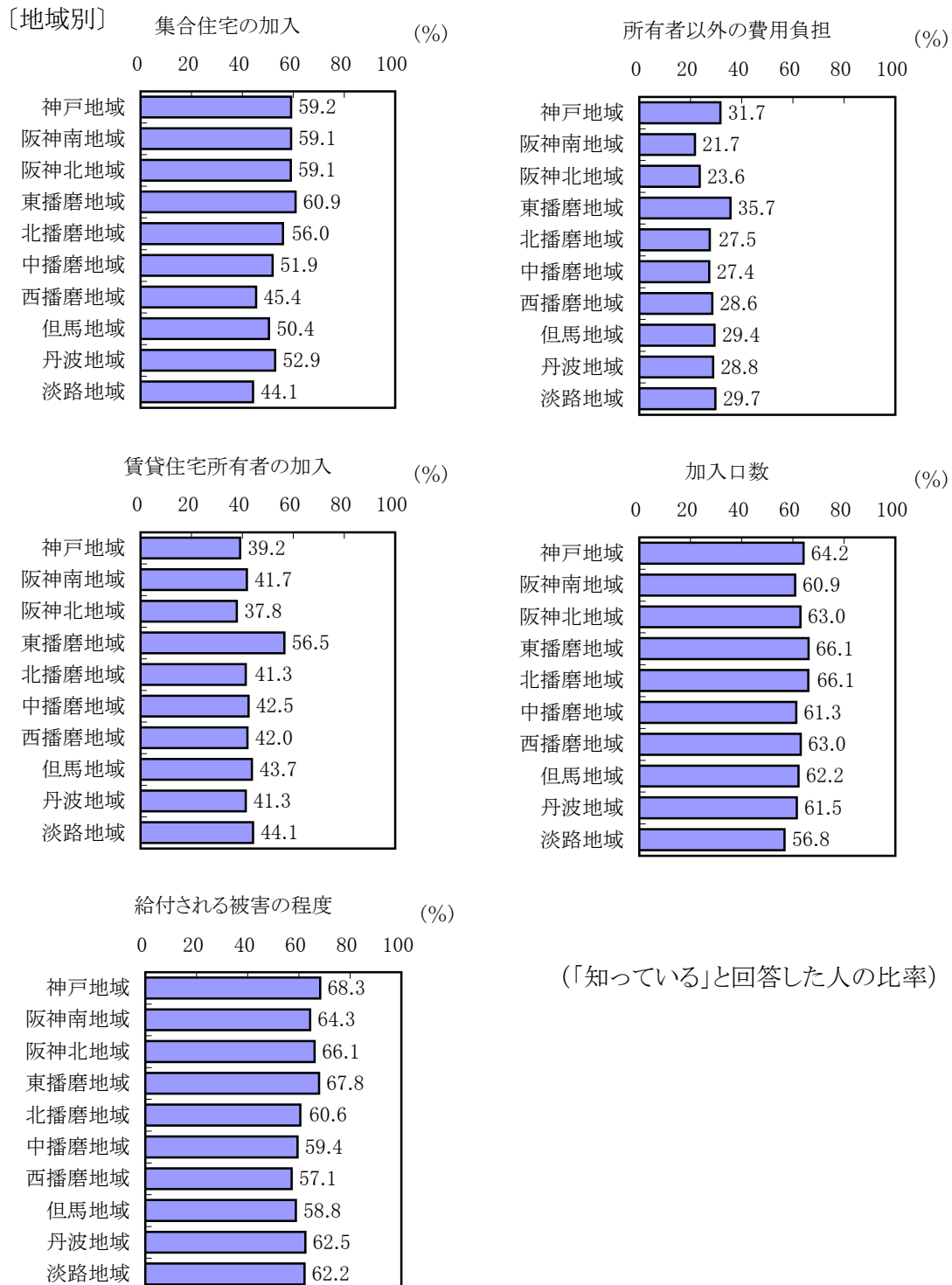
住宅形態別にみると、いずれの項目についても「一戸建て」所有者よりも「集合住宅」所有者の方が「知っている」と回答した人の割合が高くなっている。



〔住宅形態別〕（「知っている」と回答した人の比率）



地域別にみると、「集合住宅の加入」については、概ね50%前後が「知っている」と回答し、神戸、阪神南、阪神北、東播磨など都市部で比較的高くなっている。「所有者以外の費用負担」では、東播磨、神戸で3割を超え他地域より高くなっている。「賃貸住宅所有者の加入」については、東播磨が56.5%と他の地域の4割程度に比べて高くなっている。「加入口数」では、概ね6割程度であるが、東播磨、北播磨などで比較的高い。「給付される被害の程度」については、神戸、東播磨、阪神北、阪神南など、阪神・淡路大震災の被害を受けた都市部で比較的高くなっている。

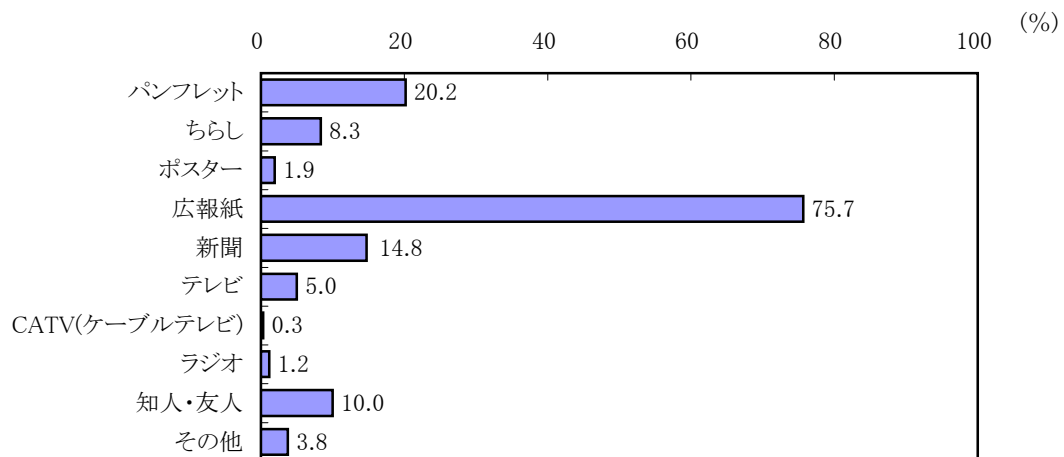


(5) 認知経路

☆制度の認知経路は、県や市町等の「広報紙」が回答者の4分の3

制度の認知経路は県や市町等の「広報紙」が最も多く75.7%、およそ4人に3人が回答したことになる。次いで、「パンフレット」(20.2%)、「新聞」(14.8%)、「知人・友人」(10.0%)などが続く。

地域別にみると、淡路では「広報紙」が85.6%と特に高い。また、西播磨の「知人・友人」(23.5%)、神戸の「新聞」(22.5%)、北播磨の「ちらし」(14.7%)などが他地域に比べて高くなっている。



(複数回答)

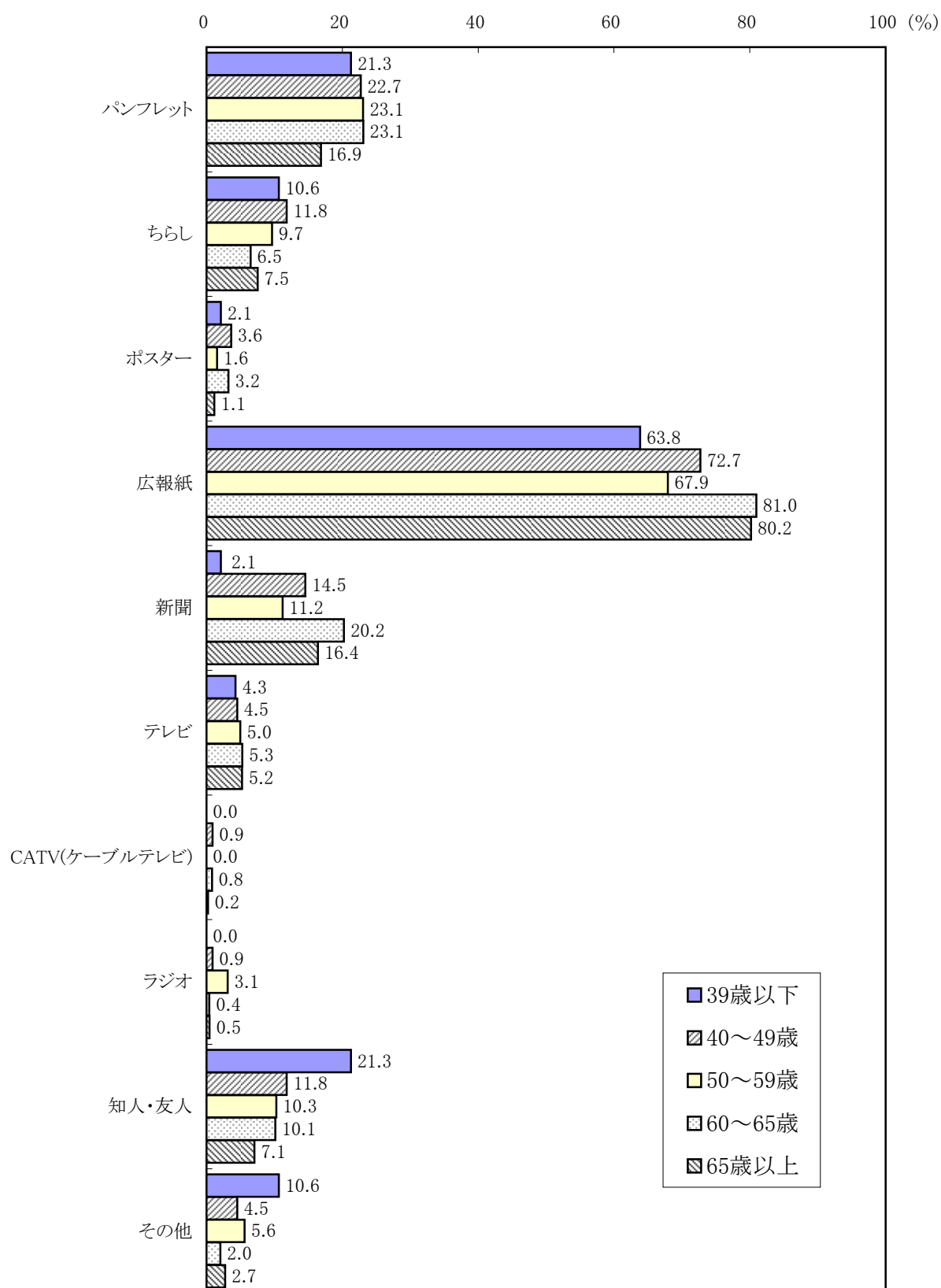
[地域別]

	全体 (人) (%)	パンフレット	ちらし	ポスター	広報紙	新聞	テレビ	CATV (ケーブル テレ)	ラジオ	知人・ 友人	その他	不明
合計	1200 100.0	242 20.2	100 8.3	23 1.9	908 75.7	177 14.8	60 5.0	4 0.3	14 1.2	120 10.0	45 3.8	10 0.8
神戸地域	120 100.0	25 20.8	6 5.0	2 1.7	91 75.8	27 22.5	10 8.3	0 0.0	1 0.8	5 4.2	6 5.0	1 0.8
阪神南地域	115 100.0	24 20.9	14 12.2	3 2.6	83 72.2	16 13.9	3 2.6	0 0.0	1 0.9	9 7.8	4 3.5	0 0.0
阪神北地域	127 100.0	28 22.0	13 10.2	2 1.6	87 68.5	24 18.9	5 3.9	0 0.0	0 0.0	7 5.5	5 3.9	1 0.8
東播磨地域	115 100.0	27 23.5	13 11.3	3 2.6	88 76.5	22 19.1	6 5.2	1 0.9	1 0.9	4 3.5	2 1.7	1 0.9
北播磨地域	109 100.0	24 22.0	16 14.7	2 1.8	81 74.3	20 18.3	9 8.3	0 0.0	5 4.6	5 4.6	3 2.8	0 0.0
中播磨地域	106 100.0	21 19.8	5 4.7	0 0.0	79 74.5	18 17.0	5 4.7	0 0.0	1 0.9	15 14.2	5 4.7	1 0.9
西播磨地域	119 100.0	21 17.6	8 6.7	2 1.7	84 70.6	8 6.7	5 4.2	0 0.0	2 1.7	28 23.5	7 5.9	0 0.0
但馬地域	119 100.0	22 18.5	10 8.4	2 1.7	94 79.0	11 9.2	5 4.2	3 2.5	1 0.8	11 9.2	6 5.0	1 0.8
丹波地域	104 100.0	23 22.1	7 6.7	3 2.9	83 79.8	10 9.6	2 1.9	0 0.0	1 1.0	13 12.5	5 4.8	2 1.9
淡路地域	111 100.0	23 20.7	6 5.4	4 3.6	95 85.6	15 13.5	8 7.2	0 0.0	1 0.9	12 10.8	2 1.8	2 1.8

(複数回答)

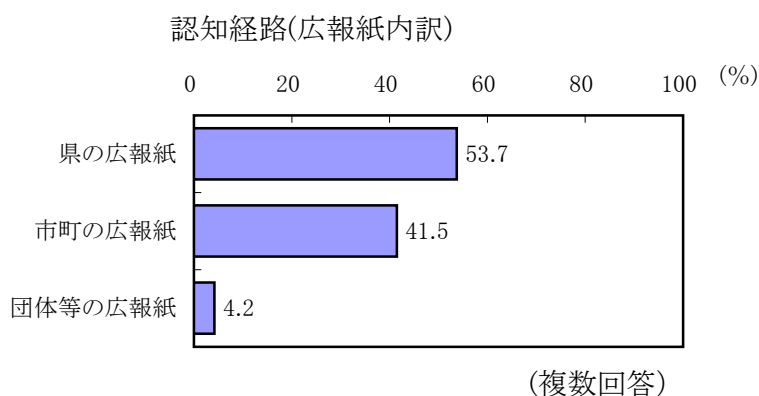
年齢別にみると、60代以上では「広報紙」や「新聞」が特に多く見られる。  
 39歳以下では、「知人・友人」が21.3%と多く、他の年代の倍近い数値となっているが、「新聞」は2.1%と少ない。

〔年齢別〕



(複数回答)

制度の認知経路のうち、「広報紙」の具体的な内訳は、「県の広報紙」が最も多く53.7%、次いで「市の広報紙」が41.5%、「団体等の広報紙」が4.2%となっている。地域別にみると「県の広報紙」は阪神南で最も高く71.1%にのぼり、「市町の広報紙」は西播磨や但馬で5割以上と多い。「団体等の広報紙」は丹波、中播磨で1割近くとなっている。



[地域別]

	全 体 (人) (%)	県の 広報 紙	市町 の広 報紙	団体 等 の 広報 紙	不明
合計	908 100.0	488 53.7	377 41.5	38 4.2	146 16.1
神戸地域	91 100.0	56 61.5	24 26.4	3 3.3	16 17.6
阪神南地域	83 100.0	59 71.1	23 27.7	2 2.4	12 14.5
阪神北地域	87 100.0	46 52.9	37 42.5	1 1.1	13 14.9
東播磨地域	88 100.0	51 58.0	32 36.4	1 1.1	13 14.8
北播磨地域	81 100.0	50 61.7	28 34.6	4 4.9	8 9.9
中播磨地域	79 100.0	38 48.1	28 35.4	7 8.9	17 21.5
西播磨地域	84 100.0	38 45.2	51 60.7	3 3.6	13 15.5
但馬地域	94 100.0	47 50.0	52 55.3	3 3.2	12 12.8
丹波地域	83 100.0	41 49.4	38 45.8	8 9.6	14 16.9
淡路地域	95 100.0	46 48.4	44 46.3	5 5.3	18 18.9

(複数回答)

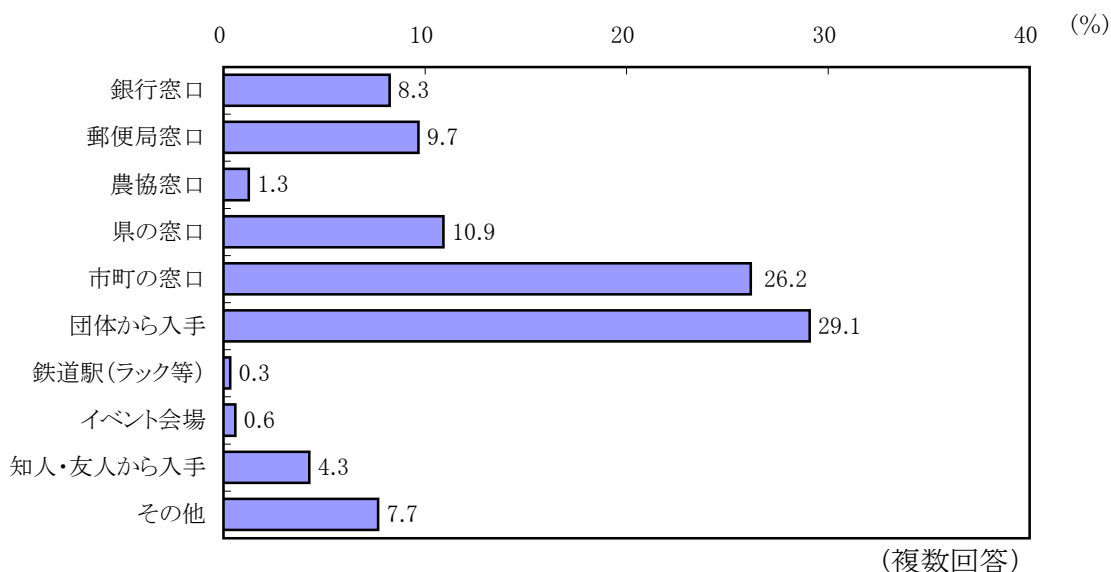


(6) 加入申込書入手先

☆加入申込書の主な入手先は、「団体から入手」や「市町の窓口」でそれぞれ3割近い

加入申込書の入手先は、「団体から入手」が最も多く29.1%、次いで「市町の窓口」が26.2%となっており、この2つが主な入手先となっている。以下、「県の窓口」(10.9%)、「郵便局窓口」(9.7%)、「銀行窓口」(8.3%)などが続く。

地域別にみると、神戸や阪神南では「銀行」や「郵便局」などの金融機関窓口が比較的多くみられ、但馬では「市町の窓口」が、西播磨や丹波で「団体から入手」がそれぞれ4割を超えるなどの特徴がみられる。



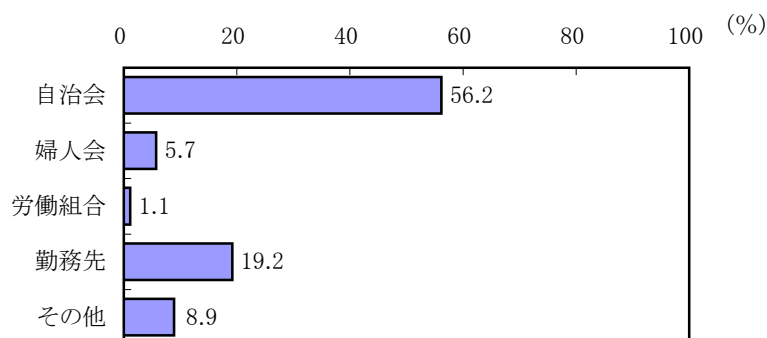
[地域別]

	全 体 (人) (%)	銀行窓 口	郵便局 窓口	農協窓 口	県の窓 口	市町の 窓口	団体か ら入手	鉄道駅 (ラック 等)	イベン ト会場	知人・ 友人か ら入手	その他	不明
合計	1200 100.0	99 8.3	116 9.7	15 1.3	131 10.9	314 26.2	349 29.1	4 0.3	7 0.6	51 4.3	92 7.7	61 5.1
神戸地域	120 100.0	16 13.3	23 19.2	1 0.8	14 11.7	17 14.2	22 18.3	2 1.7	3 2.5	3 2.5	17 14.2	4 3.3
阪神南地域	115 100.0	12 10.4	22 19.1	0 0.0	13 11.3	21 18.3	23 20.0	0 0.0	0 0.0	6 5.2	15 13.0	5 4.3
阪神北地域	127 100.0	11 8.7	15 11.8	0 0.0	17 13.4	30 23.6	29 22.8	1 0.8	1 0.8	3 2.4	18 14.2	5 3.9
東播磨地域	115 100.0	14 12.2	9 7.8	2 1.7	14 12.2	24 20.9	39 33.9	0 0.0	0 0.0	3 2.6	11 9.6	3 2.6
北播磨地域	109 100.0	11 10.1	13 11.9	0 0.0	17 15.6	26 23.9	28 25.7	0 0.0	0 0.0	2 1.8	6 5.5	8 7.3
中播磨地域	106 100.0	11 10.4	8 7.5	1 0.9	10 9.4	26 24.5	36 34.0	1 0.9	1 0.9	8 7.5	3 2.8	3 2.8
西播磨地域	119 100.0	5 4.2	7 5.9	2 1.7	7 5.9	29 24.4	48 40.3	0 0.0	0 0.0	16 13.4	4 3.4	6 5.0
但馬地域	119 100.0	5 4.2	3 2.5	3 2.5	11 9.2	53 44.5	38 31.9	0 0.0	0 0.0	2 1.7	4 3.4	6 5.0
丹波地域	104 100.0	5 4.8	5 4.8	0 0.0	10 9.6	32 30.8	45 43.3	0 0.0	2 1.9	2 1.9	4 3.8	6 5.8
淡路地域	111 100.0	6 5.4	6 5.4	1 0.9	13 11.7	38 34.2	32 28.8	0 0.0	0 0.0	4 3.6	6 5.4	10 9.0

(複数回答)

加入申込書を「団体から入手」した場合の具体的な団体は、「自治会」が半数以上(56.2%)と多くなっており、次いで勤務先19.2%、婦人会5.7%などとなっている。

地域別にみると、阪神北、東播磨、西播磨では「自治会」が7割を超えている。また、中播磨で「婦人会」、神戸では、「自治会」と「勤務先」がそれぞれ4割程度となっている。



[地域別]

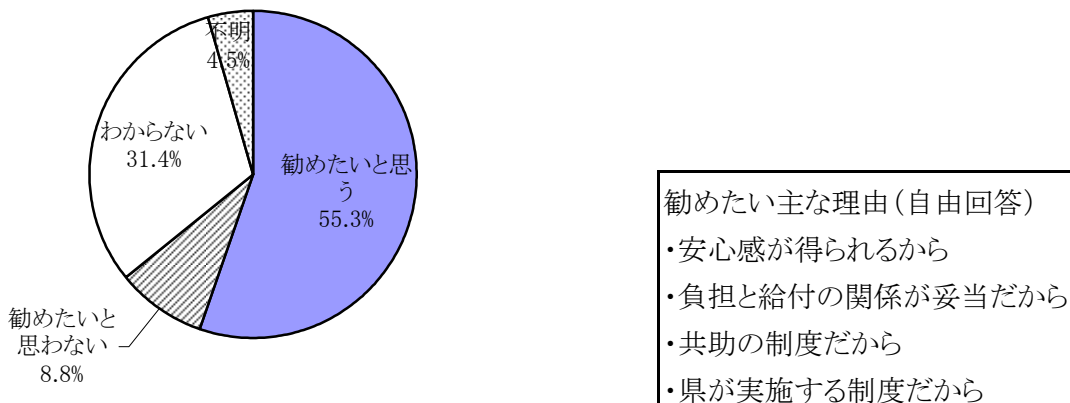
	全 体 (人) (%)	自治会	婦人会	労働組 合	勤務先	その他	不明
合計	349 100.0	196 56.2	20 5.7	4 1.1	67 19.2	31 8.9	31 8.9
神戸地域	22 100.0	8 36.4	2 9.1	0 0.0	8 36.4	3 13.6	1 4.5
阪神南地域	23 100.0	9 39.1	1 4.3	0 0.0	4 17.4	6 26.1	3 13.0
阪神北地域	29 100.0	21 72.4	0 0.0	0 0.0	3 10.3	3 10.3	2 6.9
東播磨地域	39 100.0	29 74.4	0 0.0	0 0.0	4 10.3	2 5.1	4 10.3
北播磨地域	28 100.0	17 60.7	0 0.0	0 0.0	8 28.6	1 3.6	2 7.1
中播磨地域	36 100.0	9 25.0	15 41.7	0 0.0	9 25.0	1 2.8	2 5.6
西播磨地域	48 100.0	34 70.8	0 0.0	1 2.1	9 18.8	2 4.2	2 4.2
但馬地域	38 100.0	24 63.2	1 2.6	1 2.6	7 18.4	3 7.9	2 5.3
丹波地域	45 100.0	22 48.9	0 0.0	2 4.4	8 17.8	7 15.6	6 13.3
淡路地域	32 100.0	20 62.5	0 0.0	0 0.0	6 18.8	2 6.3	4 12.5

(7) 他の人への推奨の意向

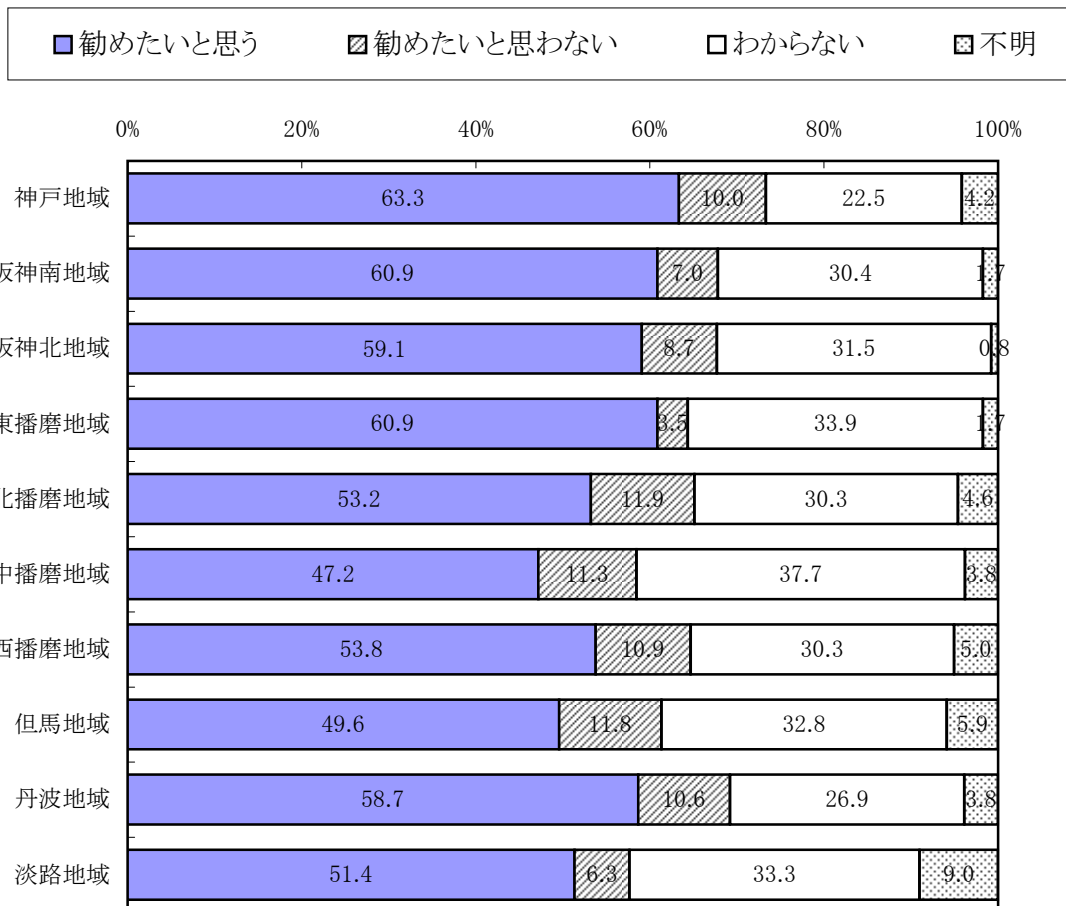
☆加入者の5割以上が、他の人にも「この制度への加入を勧めたい」と回答

この制度を、住宅を持つ親類や知人・友人に対して勧めたいと思うかどうかについては、半数以上の55.3%が「勧めたいと思う」と回答しており、「勧めたいと思わない」は8.8%と少ない。

地域別にみると、神戸、阪神南、東播磨で6割を超えている。



[地域別]

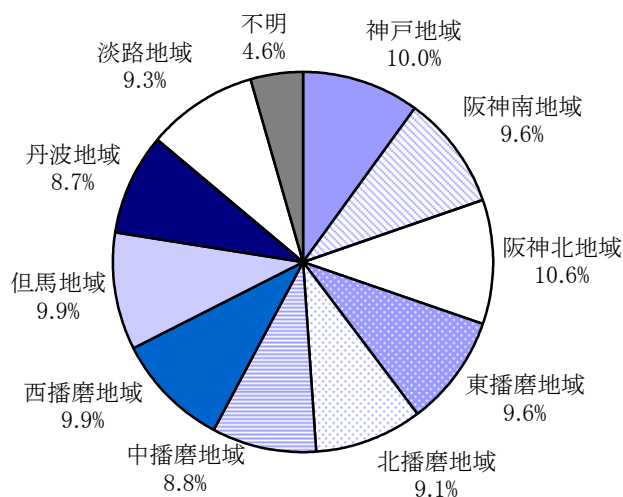


## (8) 回答者の属性

### ①住所

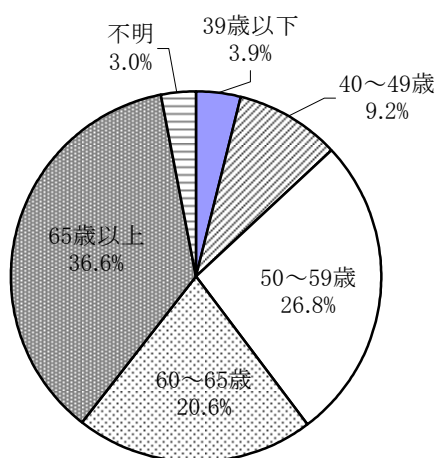
今回の調査の回答者数(加入者)は、1200人。兵庫県下の10地域の全てから、それぞれ1割程度の回答が得られた。

	件	%
全体	1200	100.0
神戸地域	120	10.0%
阪神南地域	115	9.6%
阪神北地域	127	10.6%
東播磨地域	115	9.6%
北播磨地域	109	9.1%
中播磨地域	106	8.8%
西播磨地域	119	9.9%
但馬地域	119	9.9%
丹波地域	104	8.7%
淡路地域	111	9.3%
不明	55	4.6%



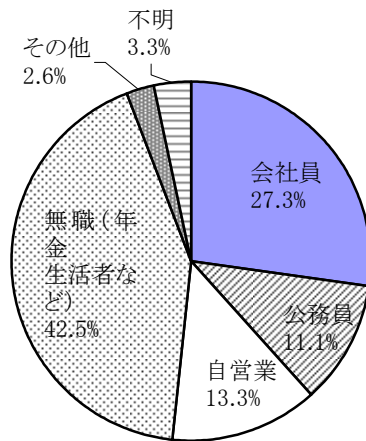
### ②年齢

年齢は65歳以上が最も多く36.6%、60～65歳(20.6%)と合わせて57.2%が60代以上であった。50～59歳は26.8%、40～49歳は9.2%、39歳以下の若い層は3.9%であった。



### ③職業

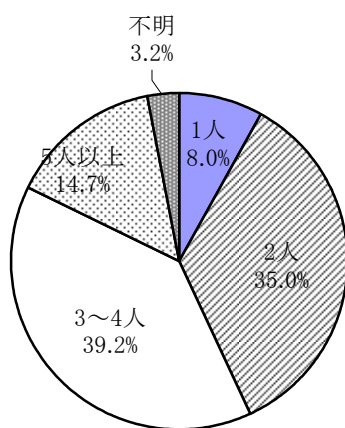
職業区分で最も多かったのは「無職(年金生活者など)」で42.5%を占めている。次いで「会社員」が27.3%、「自営業」が13.3%、「公務員」が11.1%の順であった。



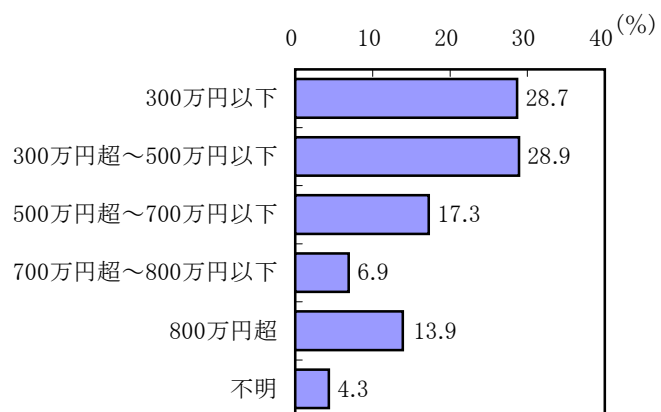
### ④世帯の状況

加入者の1世帯あたりの人数は、「3～4人」が最も多く39.2%、「2人」が35.0%、「5人以上」が14.7%、「1人」の世帯は8.0%であった。

また、世帯の年収は、「300万円超～500万円以下」が28.9%、ほぼ並んで「300万円以下」が28.7%で、合わせて約6割(57.6%)が年収「500万円以下」の世帯となっている。



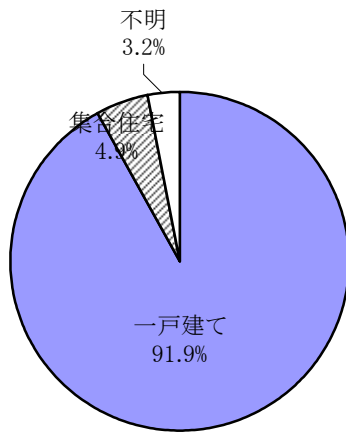
(1世帯あたりの人数)



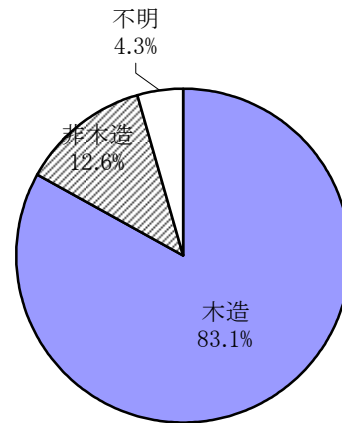
(世帯の年収)

## ⑤住宅の形態、構造

住宅の形態は、「一戸建て」が91.9%を占めており、「集合住宅」は4.9%と少なかった。  
住宅の構造は、「木造」が83.1%、「非木造」は12.6%である。



(住宅の形態)

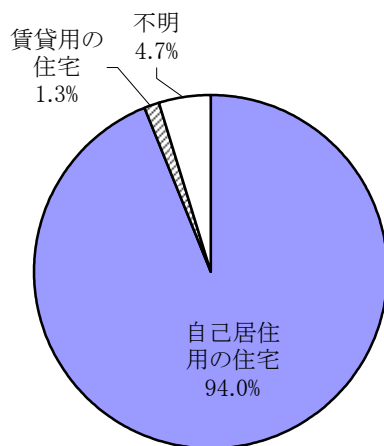


(住宅の構造)

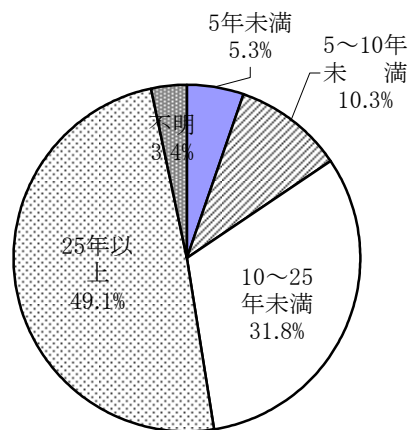
## ⑥住宅の状況、築年数

回答者が所有している住宅は「自己居住用の住宅」が94.0%を占めており、「賃貸用の住宅」は1.3%と少なかった。

住宅の築年数は「25年以上」が約半数の49.1%を占めており、「10～25年未満」が31.8%、10年未満の住宅は合わせて15.6%となっている。



(住宅の状況)

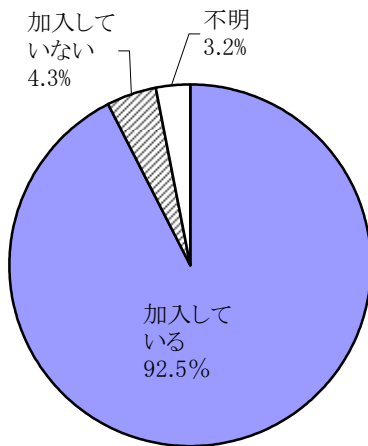


(住宅の築年数)

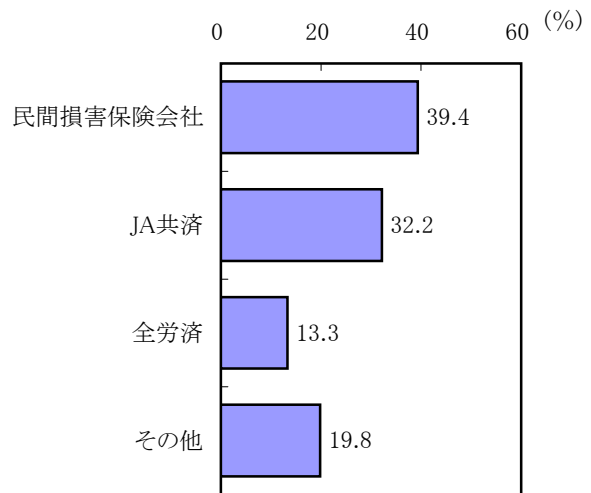
## ⑦損害保険等の加入

現在所有している住宅について、損害保険等に「加入している」という回答が全体の92.5%となっている。

保険会社等の内訳は、「民間の損害保険会社」が最も多く39.4%、次いで「JA共済」の32.2%、「全労済」の13.3%と続いている。



(損害保険等への加入状況)

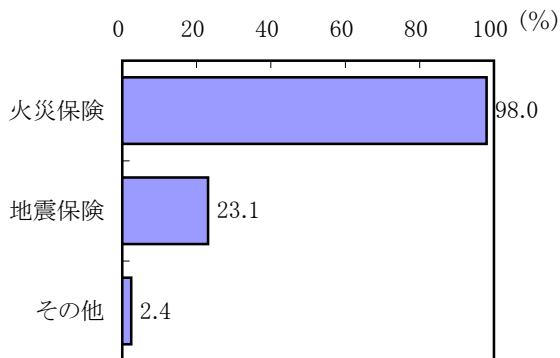


(損害保険会社等:複数回答)

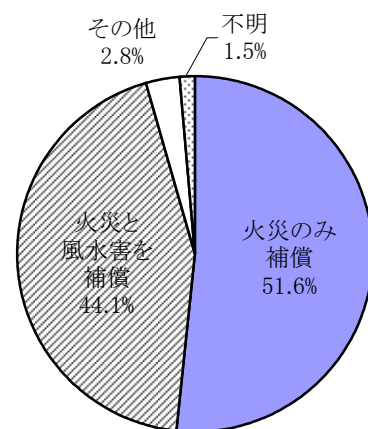
## ⑧加入している保険の種類

損害保険加入者のうち火災保険への加入は98%で、地震保険への加入は23.1%となっている。

火災保険の補償内容をたずねると、半数以上は「火災のみ補償」(51.6%)であり、「火災と風水害を補償」という回答は44.1%であった。



(加入している保険の種類:複数回答)



(火災保険の補償内容)

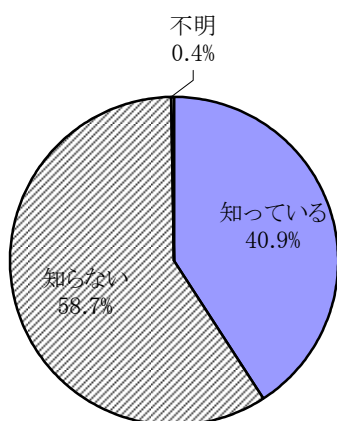
## 2 未加入者

### (1) 制度の認知度

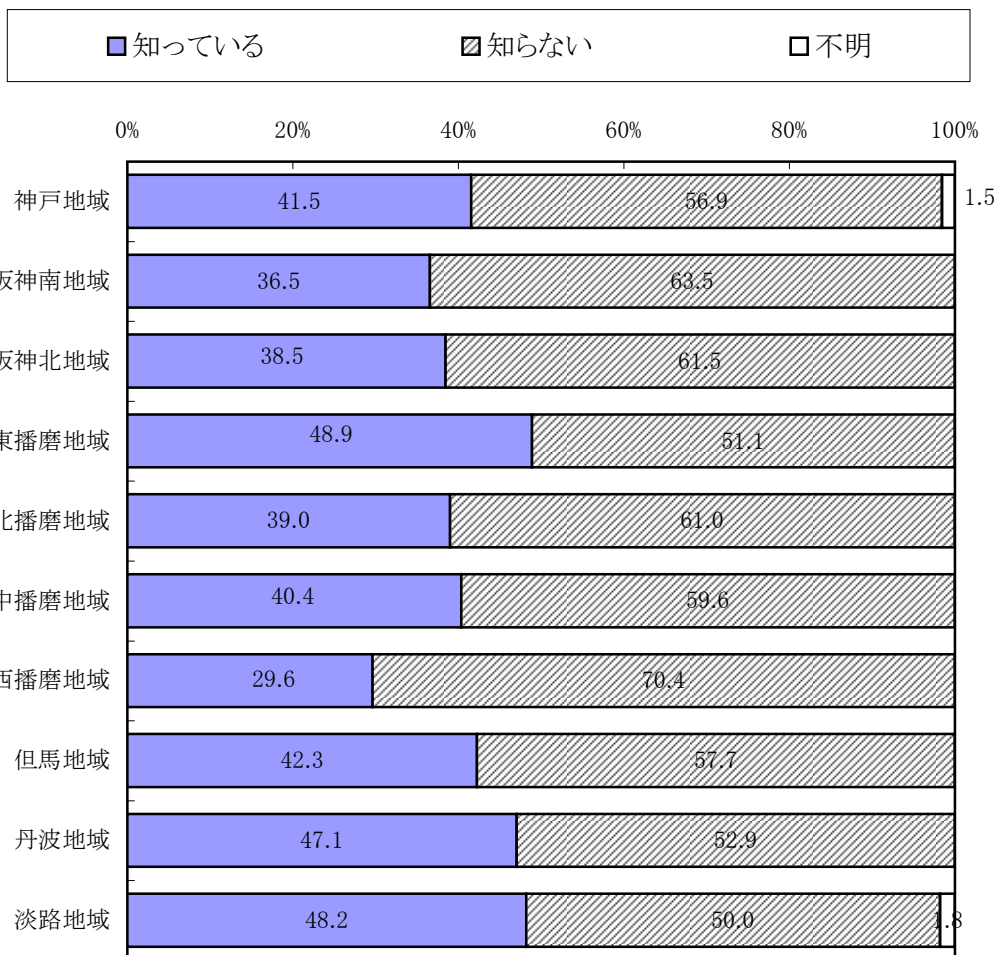
☆未加入者の制度の認知度は約4割  
 ☆60歳以上は制度の認知度が高い

一般の県民から抽出した対象者のうち、制度への未加入者に、制度を知っているかどうかたずねると、4割(40.9%)が「知っている」と回答し、「知らない」は58.7%であった。

地域別では、最も高いのは東播磨の48.9%、ほぼ並んで淡路(48.2%)、丹波(47.1%)などで高かった。



[地域別]

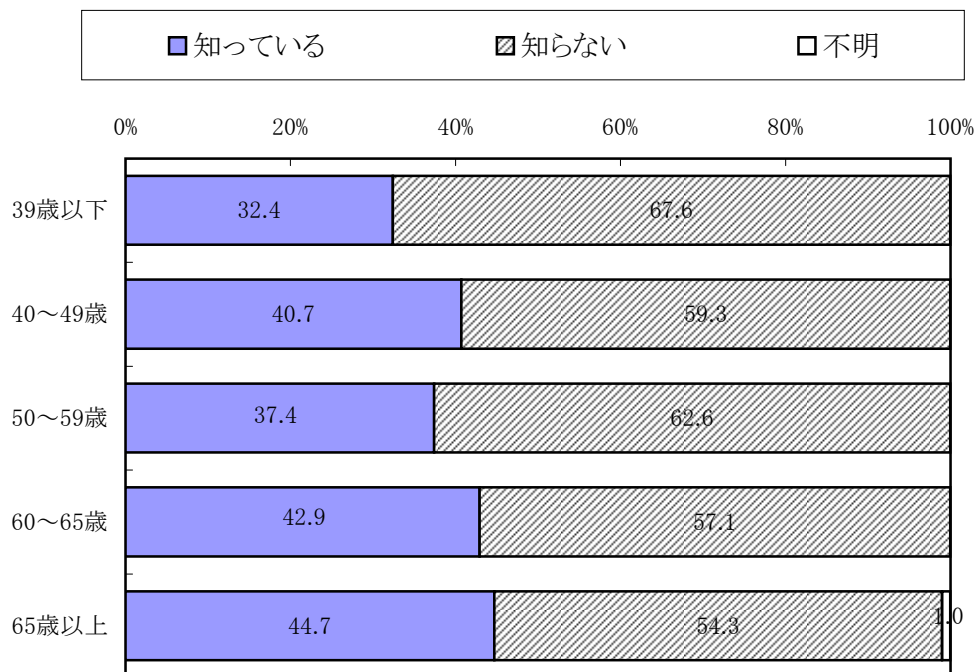




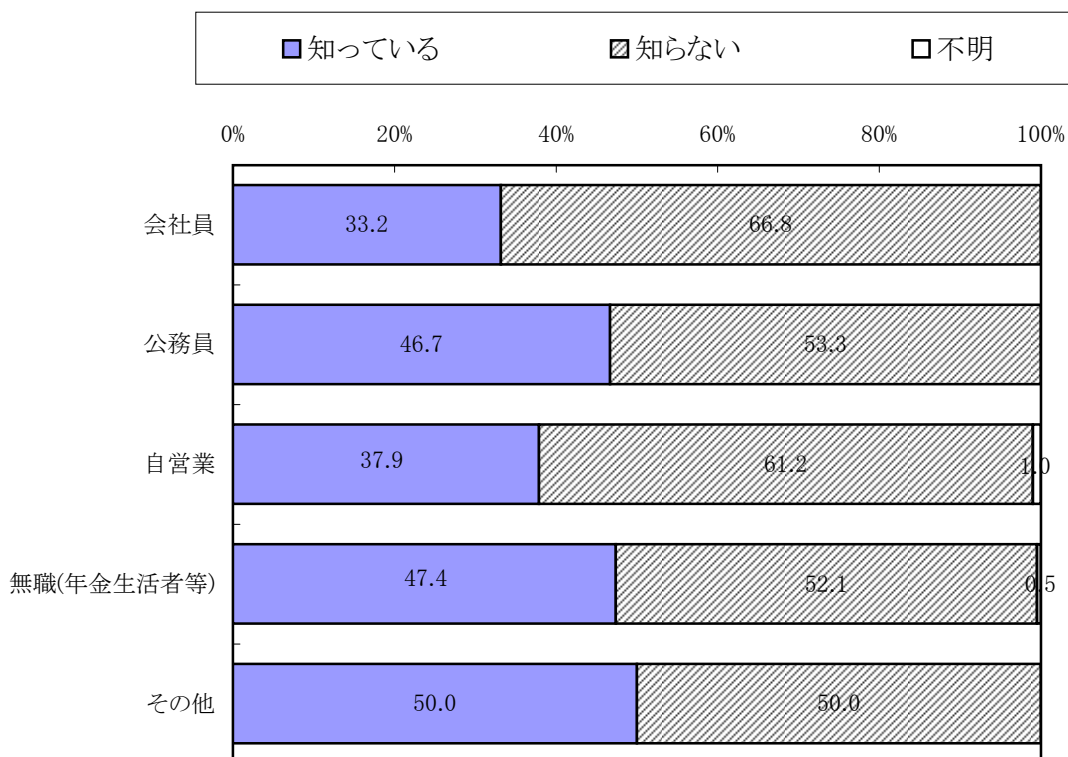
年齢別に見ると、最も高かったのは65歳以上の44.7%、次いで60～65歳の42.9%、低かったのは39歳以下の32.4%であり、概ね年齢が高いほど認知度が高い傾向であった。

職業別では、無職(47.4%)、公務員(46.7%)で認知度が高くなっている。

〔年齢別〕



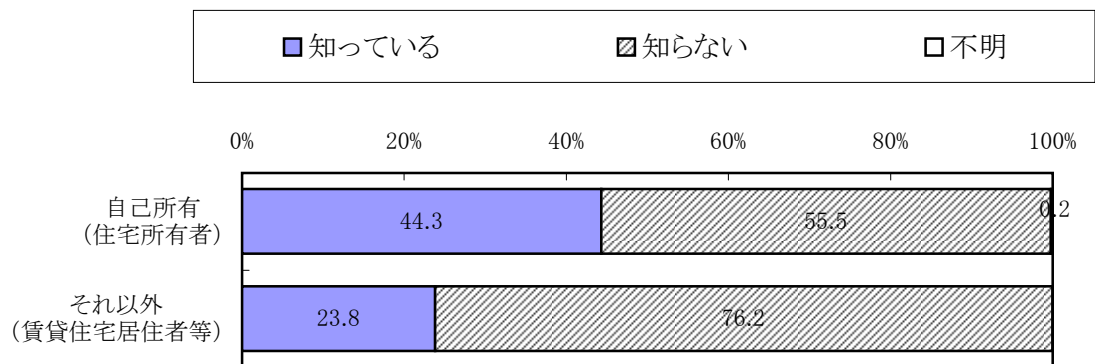
〔職業別〕



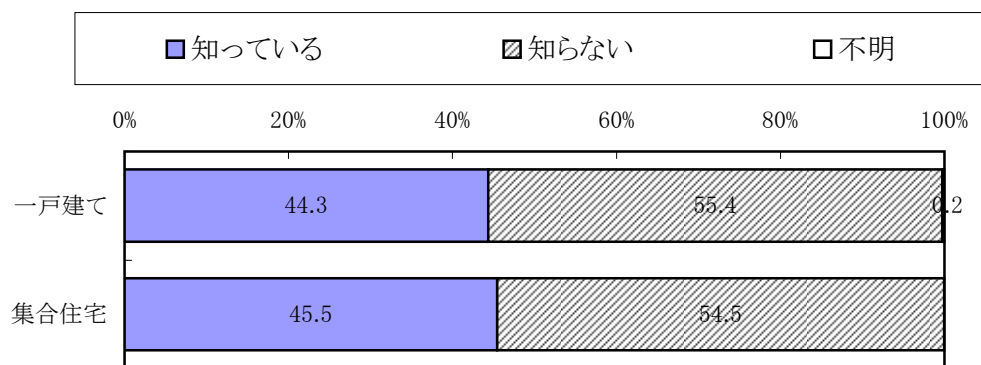
制度の認知度を住宅の所有状況別にみると、「自己所有」(住宅所有者)では44.3%で、「それ以外」(賃貸住宅居住者等)ではその半分程度(23.8%)であった。

また、「自己所有」を住宅の形態別に見ると、「一戸建て」、「集合住宅」の別にかかわらず、約45%が「知っている」と回答している。「それ以外」でも、住宅の形態別で差異はなかった。

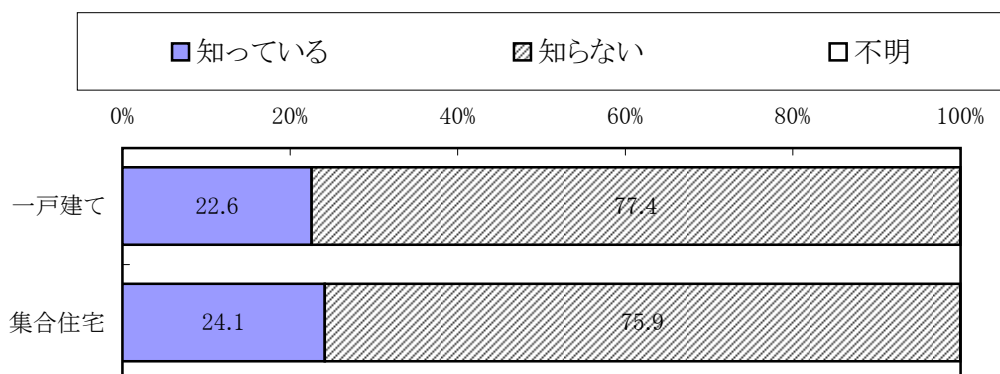
〔住宅の所有状況別〕



〔自己所有(住宅所有者)の住宅形態別〕



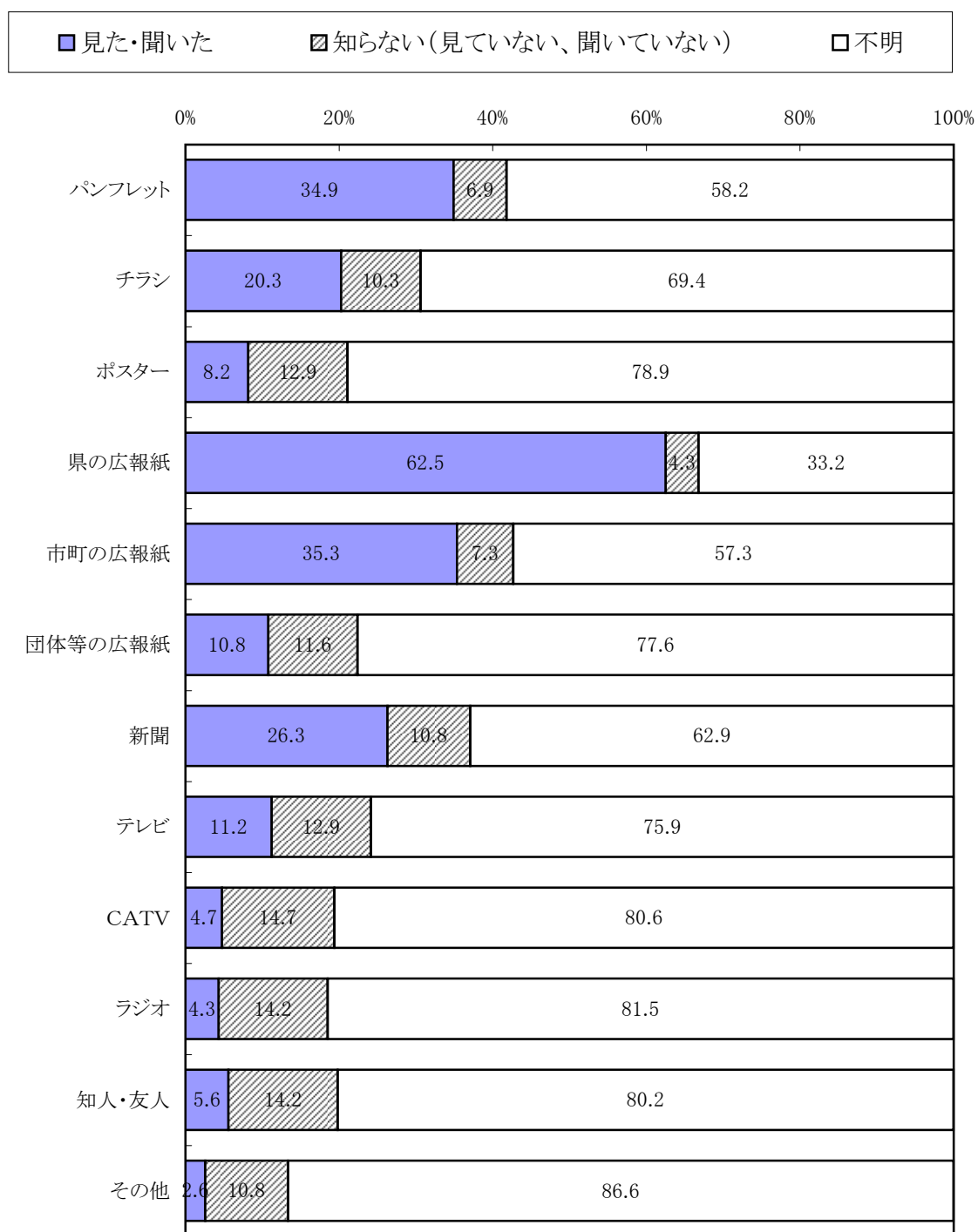
〔それ以外(賃貸住宅居住者等)の住宅形態別〕



## (2) 認知経路

☆制度の認知経路は、「県の広報紙」が最も多く、6割以上

制度について「知っている」と回答した人に対し、その認知経路をたずねると、最も多かったのは「県の広報紙」で62.5%、次いで「市町の広報紙」が35.3%、「パンフレット」が34.9%、以下「新聞」(26.3%)、「ちらし」(20.3%)、「テレビ」(11.2%)と続いている。



(複数回答)

制度の認知経路を地域別に見ると、「県の広報紙」は北播磨(82.6%)、丹波(81.3%)で特に多い。また、「市町の広報紙」は西播磨(62.5%)で、「新聞」は神戸(44.4%)、阪神南(42.1%)で多くなっている。

〔地域別〕

	全体 (人) (%)	パンフ レット	ちらし	ポス ター	県の広 報紙	市町の 広報紙	団体等 の広報 紙	新聞	テレビ	CATV( ケーブル テレビ)	ラジオ	知人・ 友人	その他
合計	232 100.0	81 34.9	47 20.3	19 8.2	145 62.5	82 35.3	25 10.8	61 26.3	26 11.2	11 4.7	10 4.3	13 5.6	6 2.6
神戸地域	27 100.0	5 18.5	0 0.0	1 3.7	16 59.3	7 25.9	1 3.7	12 44.4	2 7.4	0 0.0	0 0.0	3 11.1	0 0.0
阪神南地域	19 100.0	6 31.6	2 10.5	2 10.5	14 73.7	2 10.5	2 10.5	8 42.1	4 21.1	1 5.3	0 0.0	1 5.3	0 0.0
阪神北地域	25 100.0	4 16.0	5 20.0	3 12.0	15 60.0	9 36.0	3 12.0	6 24.0	4 16.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0
東播磨地域	22 100.0	11 50.0	6 27.3	2 9.1	12 54.5	4 18.2	2 9.1	7 31.8	5 22.7	1 4.5	1 4.5	1 4.5	0 0.0
北播磨地域	23 100.0	5 21.7	4 17.4	2 8.7	19 82.6	6 26.1	0 0.0	5 21.7	1 4.3	1 4.3	2 8.7	2 8.7	1 4.3
中播磨地域	23 100.0	7 30.4	3 13.0	3 13.0	11 47.8	9 39.1	4 17.4	4 17.4	3 13.0	1 4.3	1 4.3	2 8.7	2 8.7
西播磨地域	16 100.0	6 37.5	4 25.0	0 0.0	9 56.3	10 62.5	3 18.8	1 6.3	0 0.0	1 6.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0
但馬地域	30 100.0	18 60.0	7 23.3	2 6.7	19 63.3	16 53.3	5 16.7	10 33.3	3 10.0	3 10.0	1 3.3	0 0.0	1 3.3
丹波地域	16 100.0	8 50.0	7 43.8	3 18.8	13 81.3	8 50.0	3 18.8	2 12.5	3 18.8	0 0.0	1 6.3	1 6.3	0 0.0
淡路地域	27 100.0	10 37.0	7 25.9	1 3.7	17 63.0	10 37.0	1 3.7	6 22.2	1 3.7	1 3.7	0 0.0	2 7.4	0 0.0

(複数回答)

年齢別にみると、「県の広報紙」「新聞」「チラシ」などは65歳以上に多くみられ、60～65歳は「パンフレット」、50～59歳は「市町の広報紙」「団体等の広報紙」、39歳以下の若い層には「テレビ」「ラジオ」などの電波媒体が比較的多く見られた。

〔年齢別〕		(%)					
		パンフレット			チラシ		
		知っている	知らない	不明	知っている	知らない	不明
合計	232	34.9	6.9	58.2	20.3	10.3	69.4
39歳以下	12	25.0	8.3	66.7	16.7	8.3	75.0
40～49歳	33	36.4	12.1	51.5	12.1	27.3	60.6
50～59歳	61	36.1	4.9	59.0	18.0	9.8	72.1
60～65歳	36	41.7	5.6	52.8	19.4	11.1	69.4
65歳以上	89	32.6	5.6	61.8	24.7	4.5	70.8
		ポスター			県の広報紙		
		知っている	知らない	不明	知っている	知らない	不明
合計	232	8.2	12.9	78.9	62.5	4.3	33.2
39歳以下	12	8.3	16.7	75.0	58.3	8.3	33.3
40～49歳	33	6.1	27.3	66.7	48.5	6.1	45.5
50～59歳	61	8.2	13.1	78.7	63.9	1.6	34.4
60～65歳	36	11.1	11.1	77.8	52.8	8.3	38.9
65歳以上	89	7.9	6.7	85.4	71.9	2.2	25.8
		市町の広報紙			団体等の広報紙		
		知っている	知らない	不明	知っている	知らない	不明
合計	232	35.3	7.3	57.3	10.8	11.6	77.6
39歳以下	12	16.7	8.3	75.0	0.0	25.0	75.0
40～49歳	33	33.3	12.1	54.5	6.1	27.3	66.7
50～59歳	61	54.1	3.3	42.6	14.8	8.2	77.0
60～65歳	36	19.4	8.3	72.2	11.1	13.9	75.0
65歳以上	89	32.6	6.7	60.7	10.1	5.6	84.3
		新聞			テレビ		
		知っている	知らない	不明	知っている	知らない	不明
合計	232	26.3	10.8	62.9	11.2	12.9	75.9
39歳以下	12	25.0	16.7	58.3	16.7	8.3	75.0
40～49歳	33	15.2	27.3	57.6	9.1	27.3	63.6
50～59歳	61	27.9	9.8	62.3	8.2	13.1	78.7
60～65歳	36	22.2	8.3	69.4	11.1	13.9	75.0
65歳以上	89	31.5	4.5	64.0	13.5	6.7	79.8
		CATV			ラジオ		
		知っている	知らない	不明	知っている	知らない	不明
合計	232	4.7	14.7	80.6	4.3	14.2	81.5
39歳以下	12	0.0	25.0	75.0	25.0	16.7	58.3
40～49歳	33	6.1	27.3	66.7	6.1	27.3	66.7
50～59歳	61	6.6	14.8	78.7	4.9	14.8	80.3
60～65歳	36	2.8	13.9	83.3	2.8	13.9	83.3
65歳以上	89	4.5	7.9	87.6	1.1	7.9	91.0
		知人・友人			その他		
		知っている	知らない	不明	知っている	知らない	不明
合計	232	5.6	14.2	80.2	2.6	10.8	86.6
39歳以下	12	0.0	25.0	75.0	8.3	25.0	66.7
40～49歳	33	9.1	24.2	66.7	6.1	18.2	75.8
50～59歳	61	8.2	16.4	75.4	3.3	9.8	86.9
60～65歳	36	5.6	13.9	80.6	2.8	11.1	86.1
65歳以上	89	3.4	6.7	89.9	0.0	6.7	93.3

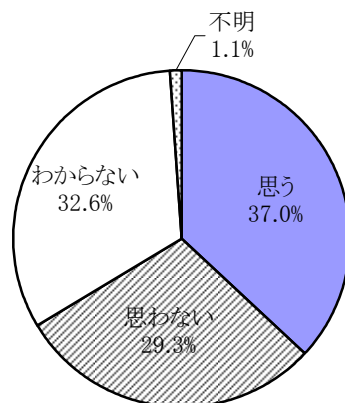
(複数回答)

### (3) 将来加入の意向

☆「加入したいと思う」(約4割)が、「思わない」(約3割)を上回る

制度の概要を説明した上で、将来この制度へ加入したいかをたずねると、「加入したいと思う」という回答が約4割(37.0%)で、「思わない」という回答約3割(29.3%)を上回った。一方で、「わからない」という回答も約3割(32.6%)となっている。

地域別にみると、阪神南、北播磨、中播磨、但馬、淡路は、4割以上が「加入したいと思う」と回答しており、他の地域より多くなっている。

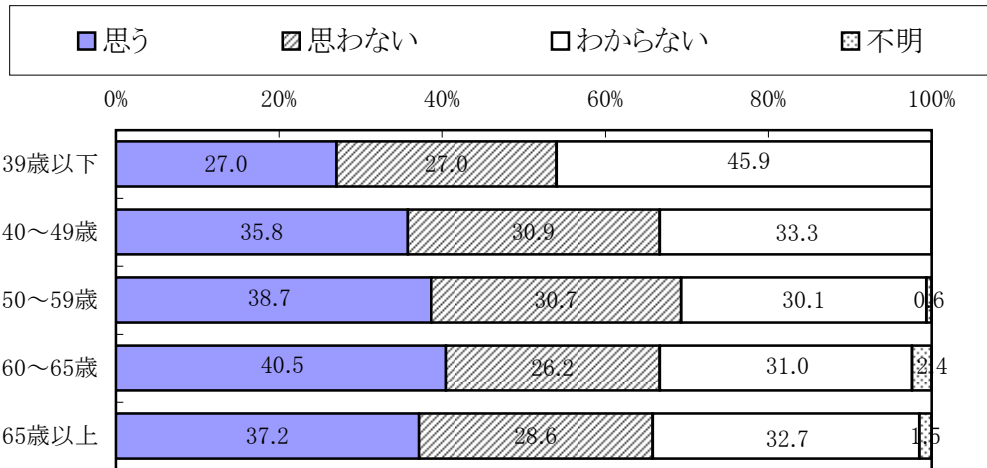


〔地域別〕	(人)				
	全 体	思 う	思 わない	わ かり ない	不 明
合 計	567 100.0	210 37.0	166 29.3	185 32.6	6 1.1
神戸地域	65 100.0	22 33.8	18 27.7	24 36.9	1 1.5
阪神南地域	52 100.0	22 42.3	18 34.6	12 23.1	0 0.0
阪神北地域	65 100.0	20 30.8	23 35.4	22 33.8	0 0.0
東播磨地域	45 100.0	11 24.4	14 31.1	19 42.2	1 2.2
北播磨地域	59 100.0	25 42.4	23 39.0	11 18.6	0 0.0
中播磨地域	57 100.0	24 42.1	18 31.6	14 24.6	1 1.8
西播磨地域	54 100.0	20 37.0	19 35.2	15 27.8	0 0.0
但馬地域	71 100.0	31 43.7	11 15.5	28 39.4	1 1.4
丹波地域	34 100.0	11 32.4	8 23.5	14 41.2	1 2.9
淡路地域	56 100.0	24 42.9	11 19.6	20 35.7	1 1.8

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて加入意向が高くなっており、60～65歳で最も高い40.5%となるものの、65歳以上では37.2%と少し低下している。

職業別では「自営業」が最も加入意向が高く47.6%、最も低いのは「無職」の30.3%であった。

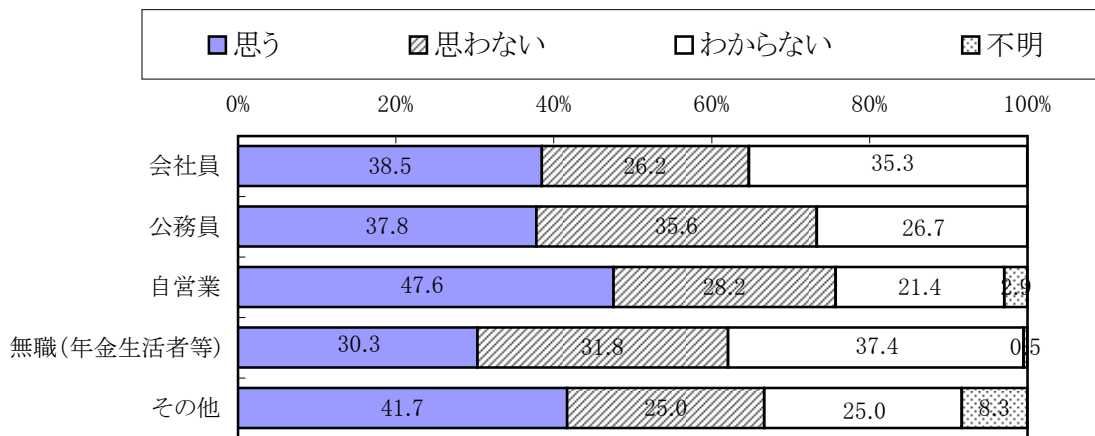
〔年齢別〕



(人)

	全 体	思 っ たい	思 っ たい 不 明	思 っ たい 不 明	思 っ たい 不 明	思 っ たい 不 明
39歳以下	37	10	10	17	0	
40～49歳	81	29	25	27	0	
50～59歳	163	63	50	49	1	
60～65歳	84	34	22	26	2	
65歳以上	199	74	57	65	3	
不 明	3	0	2	1	0	
合 計	567	210	166	185	6	

〔職業別〕



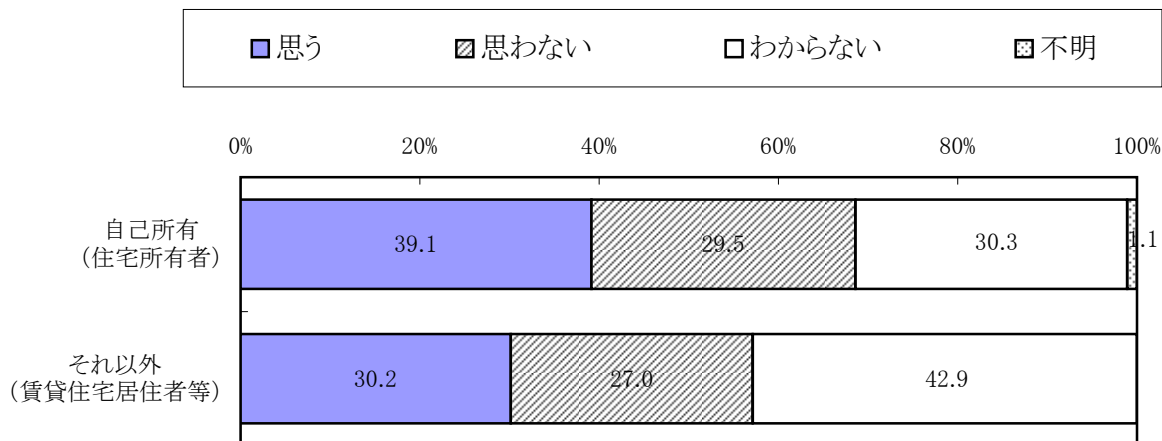
(人)

	全 体	思 っ たい	思 っ たい 不 明	思 っ たい 不 明	思 っ たい 不 明	思 っ たい 不 明
会社員	187	72	49	66	0	
公務員	45	17	16	12	0	
自営業	103	49	29	22	3	
無職(年金生活者等)	211	64	67	79	1	
その他	12	5	3	3	1	
不 明	9	3	2	3	1	
合 計	567	210	166	185	6	

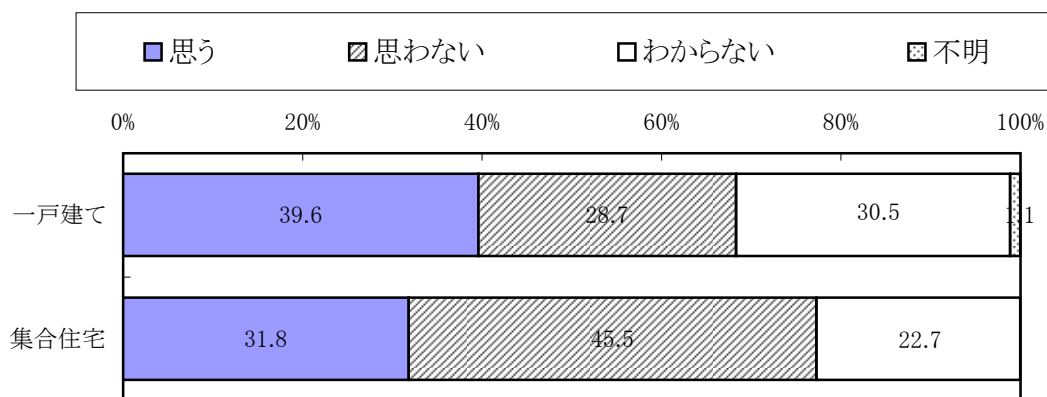
将来この制度に「加入したいと思う」という回答を、住宅の所有状況別で見ると、「自己所有」(住宅所有者)は39.1%で、「それ以外」(賃貸住宅居住者等)の30.2%より多くなっている。

また、「自己所有」を住宅の形態別に見ると、「一戸建て」(39.6%)が「集合住宅」(31.8%)を上回っている。「それ以外」についても、「一戸建て」(35.5%)が「集合住宅」(24.1%)を上回っている。

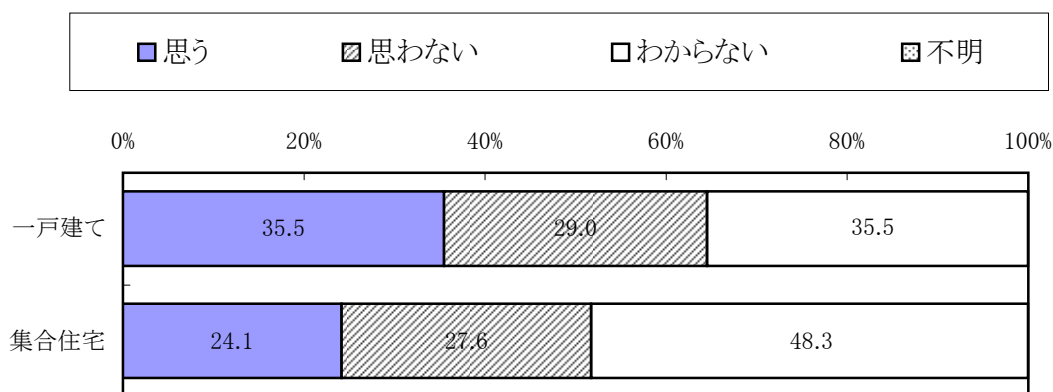
〔住宅の所有状況別〕



〔自己所有(住宅所有者)の住宅形態別〕



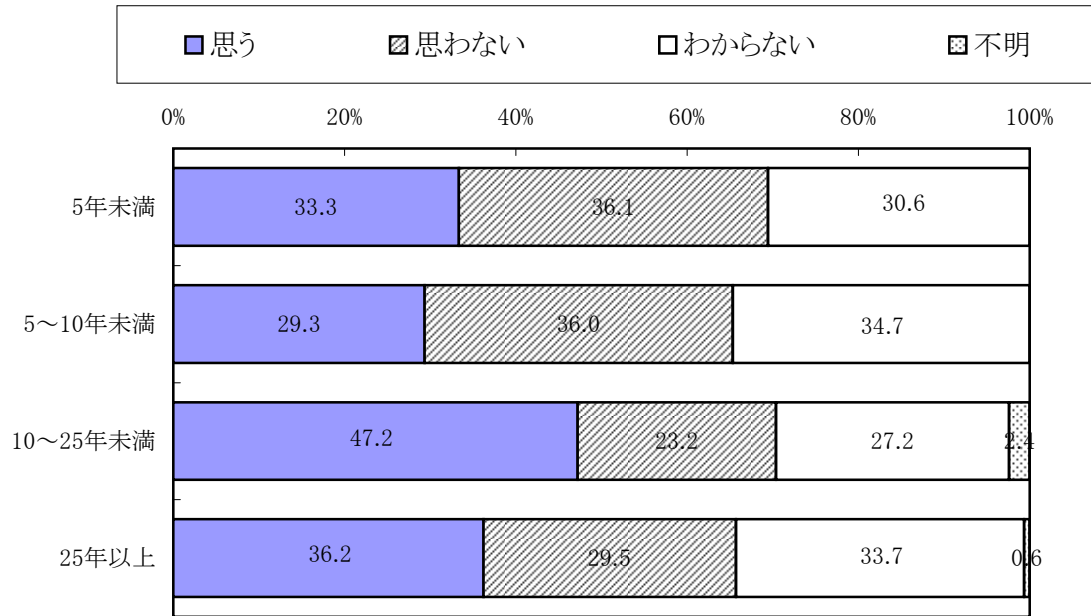
〔それ以外(賃貸住宅居住者等)の住宅形態別〕





住宅の築年数別にみると、「10～25年未満」の住宅居住者で「加入したいと思う」という回答が47.2%と高くなっており、「5～10年未満」の住宅居住者が29.3%と比較的低くなっている。

〔住宅の築年数別〕



(人)

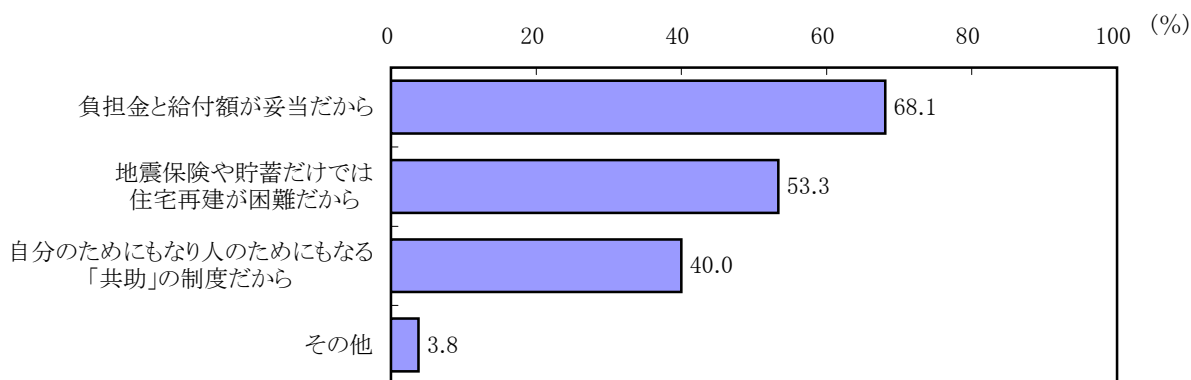
	全 体	思 う	思 わない	わ かり ない	不 明
5年未満	36	12	13	11	0
5～10年未満	75	22	27	26	0
10～25年未満	125	59	29	34	3
25年以上	312	113	92	105	2
不明	19	4	5	9	1
合計	567	210	166	185	6

(4) 加入したい理由

☆ 「負担と給付が妥当」(約7割)、「保険や貯蓄だけでは再建が困難」(約5割)、「共助の制度だから」(4割)の順で、加入者の加入動機と同じ傾向

加入したいと回答した人にその理由をたずねると、最も多かったのは「負担金と給付額が妥当だから」(68.1%)、次に「地震保険や貯蓄だけでは住宅再建が困難だから」(53.3%)、「自分のためにもなり人のためにもなる『共助』の制度だから」(40.0%)の順となっている。

地域別にみると、「負担金と給付額が妥当だから」は東播磨(81.8%)、阪神北(80.0%)で、「地震保険や貯蓄だけでは再建が困難だから」は阪神北(75.0%)で、「自分のためにもなり人のためにもなる『共助』の制度だから」は丹波(63.6%)で、それぞれ他地域より多くなっている。



(複数回答)

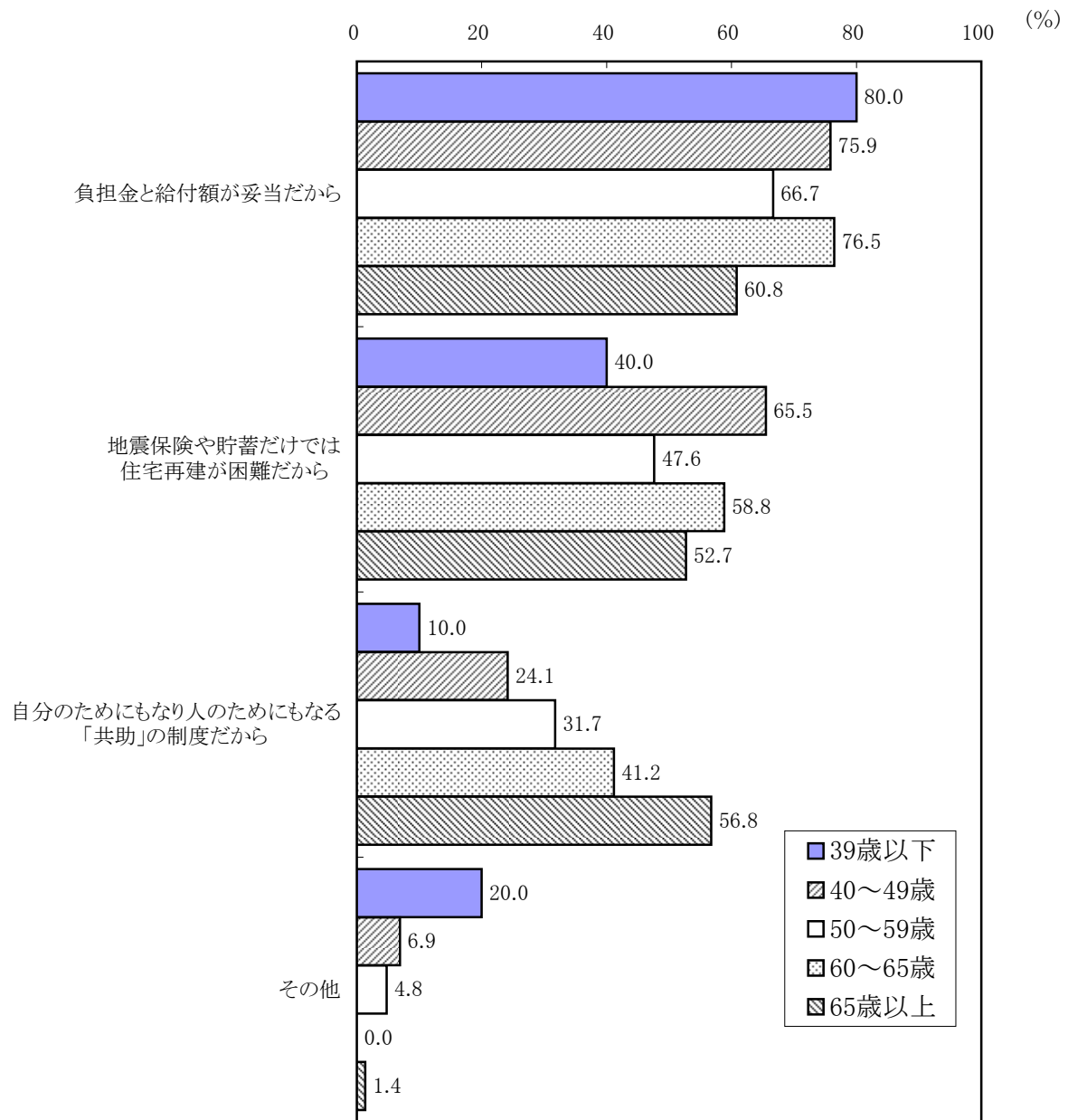
[地域別]

	全体 (人) (%)	負担金と給付額 が妥当だから	地震保険や貯蓄 だけでは住宅再 建が困難だから	自分のためにも なり人のためにも なる「共助」の 制度だから	その他
合計	210 100.0	143 68.1	112 53.3	84 40.0	8 3.8
神戸地域	22 100.0	15 68.2	10 45.5	11 50.0	0 0.0
阪神南地域	22 100.0	15 68.2	11 50.0	10 45.5	2 9.1
阪神北地域	20 100.0	16 80.0	15 75.0	6 30.0	0 0.0
東播磨地域	11 100.0	9 81.8	6 54.5	3 27.3	0 0.0
北播磨地域	25 100.0	15 60.0	14 56.0	9 36.0	1 4.0
中播磨地域	24 100.0	17 70.8	12 50.0	10 41.7	1 4.2
西播磨地域	20 100.0	14 70.0	11 55.0	8 40.0	0 0.0
但馬地域	31 100.0	19 61.3	15 48.4	10 32.3	2 6.5
丹波地域	11 100.0	6 54.5	6 54.5	7 63.6	1 9.1
淡路地域	24 100.0	17 70.8	12 50.0	10 41.7	1 4.2

(複数回答)

年齢別にみると、「自分のためにもなり人のためにもなる『共助』の制度だから」については、65歳以上では56.8%と半数を超えているが、39歳以下では10.0%で、年齢が高くなるほど多くなっている。

〔年齢別〕

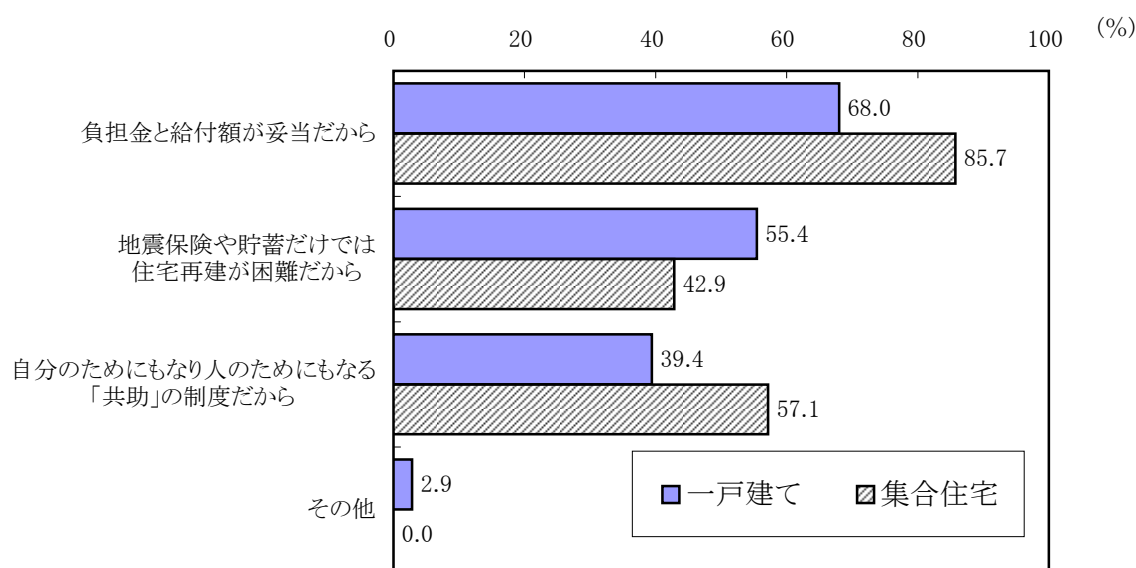


(複数回答)

加入したい理由を住宅形態別にみると、住宅所有者では「集合住宅」居住者の85.7%が「負担金と給付額が妥当だから」を理由にあげており、「一戸建て」居住者よりも多い。「自分のためにもなり人のためにもなる『共助』の制度だから」という理由でも「集合住宅」居住者が「一戸建て」居住者を上回っている。反対に「地震保険や貯蓄だけでは住宅再建が困難だから」については「集合住宅」居住者よりも「一戸建て」居住者のほうがやや多い。

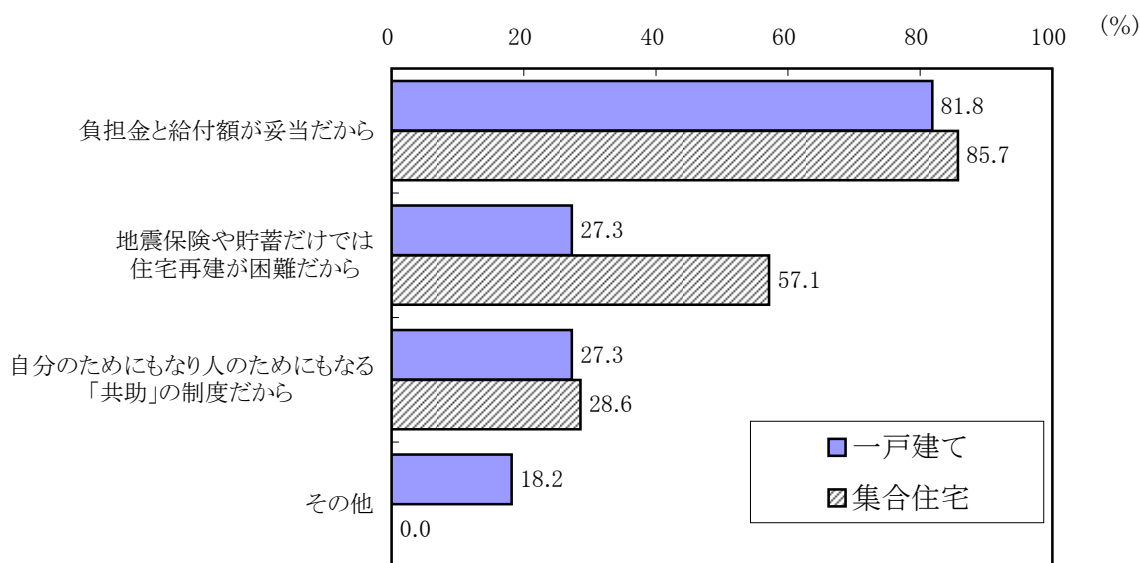
賃貸住宅居住者等では、いずれの項目についても「集合住宅」居住者のほうが「一戸建て」居住者よりも多くなっているが、特に「地震保険や貯蓄だけでは住宅再建が困難だから」については57.1%で「一戸建て」居住者27.3%に対し倍以上の割合となっている。

〔住宅所有者の住宅形態別〕



(複数回答)

〔賃貸住宅居住者等の住宅形態別〕



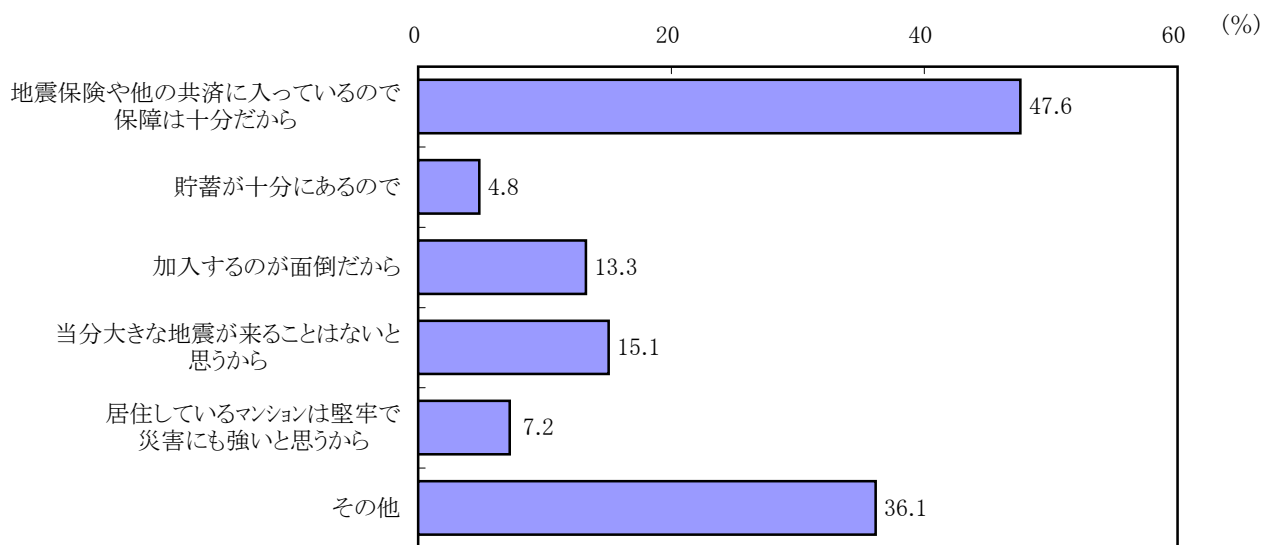
(複数回答)

(5) 加入したいと思わない理由

☆「地震保険や他の共済に加入しているので保障は十分」が最も多く、約5割

加入したいと思わないと回答した人の理由は、「地震保険や他の共済に入っているので保障は十分だから」と考えている人が半数近い47.6%で最も多かった。次いで「当分大きな地震がくることはないと思うから」(15.1%)、「加入するのが面倒だから」(13.3%)、「居住しているマンションは堅牢で災害にも強いと思うから」(7.2%)、「貯蓄が十分にあるので」(4.8%)の順となっている。

なお、加入したくない理由の「その他」で回答された内容は下表(その他の内訳)のとおり。



(複数回答)

加入したいと思わない理由		(人)
地震保険や他の共済に入っているので保障は十分だから		79
貯蓄が十分にあるので		8
加入するのが面倒だから		22
当分大きな地震が来ることはないと思うから		25
居住しているマンションは堅牢で災害にも強いと思うから		12
その他		60
不明		1
合計		166

【その他の内訳】		(人)
高齢なので		11
保障額が少ない		9
借家、賃貸なので		7
掛け金を払う余裕がない		6
地震で壊れる心配はない		6
制度がよくわからない、賛成できない		5
その他		8
無回答		8
合計		60

加入したいと思わない理由を地域別に見ると、「地震保険や他の共済に入っているので保障は十分だから」がどの地域でも最も多くなっているが、「当分大きな地震が来ることはないと思うから」という回答が、但馬、神戸、阪神南、東播磨で2割を超えており、他の地域より多くなっている。

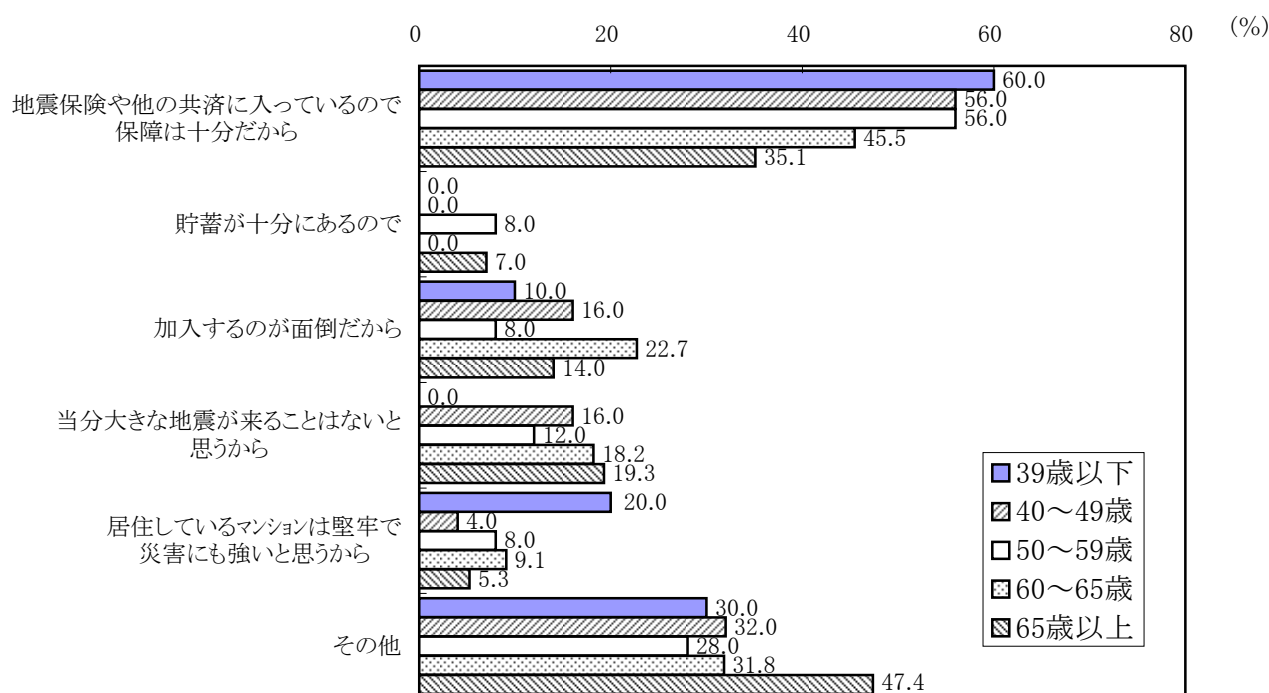
年齢別では、年代が若いほど「地震保険や他の共済に入っているので保障は十分だから」という回答が多くなっている。「加入するのが面倒だから」「当分大きな地震が来ることはないと思うから」については、概ね年齢の高いほうが多い。

[地域別]

	全 体 (人) (%)	地震保険や 他の共済に 入っている ので保障は 十分だから	貯蓄が十分 にあるので	加入するの が面倒だか ら	当分大きな 地震が来る ことはない と思うから	居住してい るマンションは 堅牢で災害 にも強いと 思うから	その他
合 計	166 100.0	79 47.6	8 4.8	22 13.3	25 15.1	12 7.2	60 36.1
神戸地域	18 100.0	7 38.9	0 0.0	3 16.7	4 22.2	1 5.6	11 61.1
阪神南地域	18 100.0	10 55.6	1 5.6	2 11.1	4 22.2	4 22.2	4 22.2
阪神北地域	23 100.0	7 30.4	2 8.7	3 13.0	4 17.4	1 4.3	11 47.8
東播磨地域	14 100.0	5 35.7	1 7.1	3 21.4	3 21.4	1 7.1	4 28.6
北播磨地域	23 100.0	13 56.5	3 13.0	5 21.7	4 17.4	0 0.0	6 26.1
中播磨地域	18 100.0	10 55.6	0 0.0	1 5.6	1 5.6	2 11.1	8 44.4
西播磨地域	19 100.0	11 57.9	0 0.0	4 21.1	1 5.3	1 5.3	5 26.3
但馬地域	11 100.0	5 45.5	1 9.1	1 9.1	3 27.3	1 9.1	1 9.1
丹波地域	8 100.0	5 62.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	3 37.5
淡路地域	11 100.0	5 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	5 45.5

(複数回答)

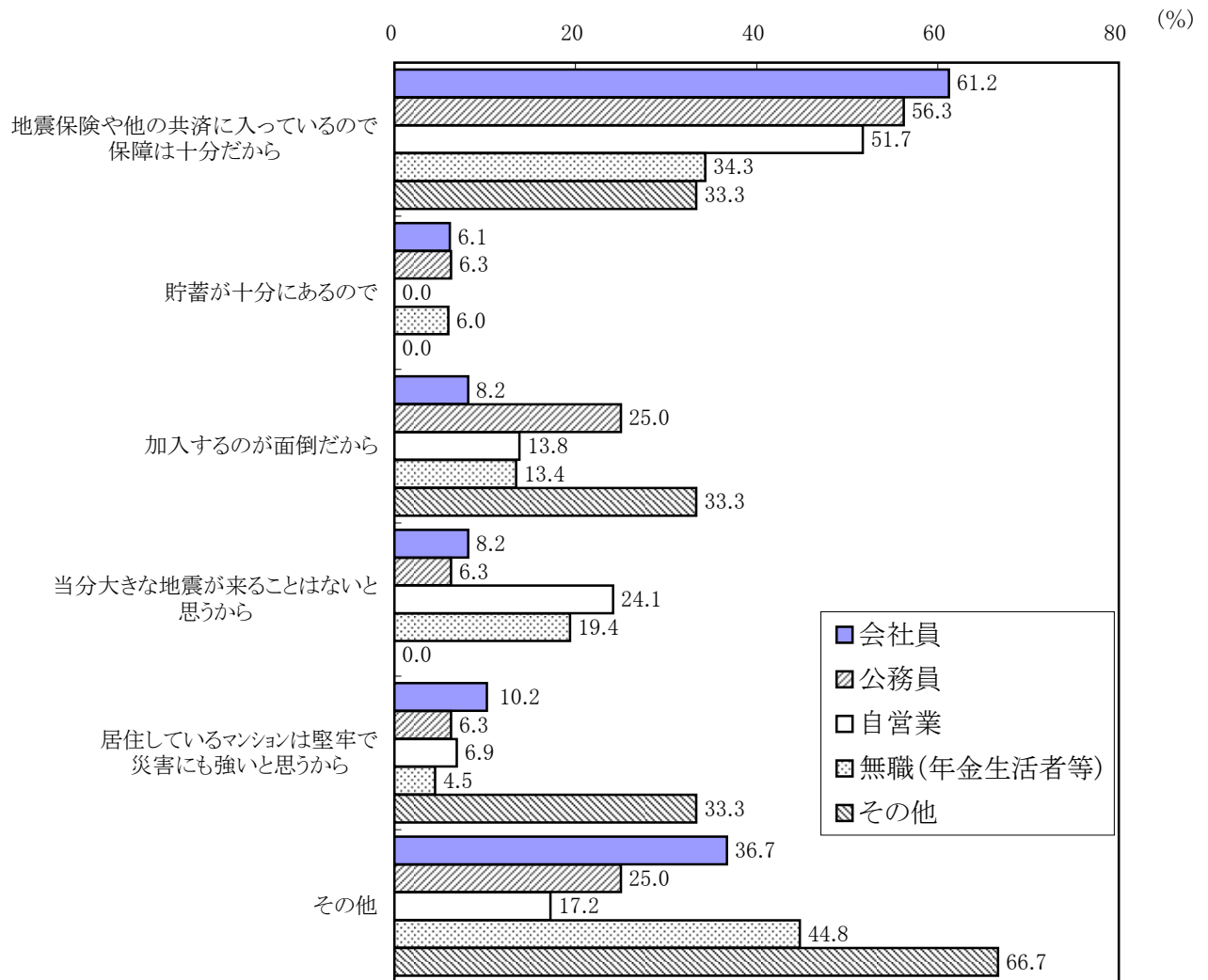
[年齢別]



(複数回答)

職業別にみると、会社員、公務員、自営業では「地震保険や他の共済に入っているので保障は十分だから」が半数を超えており、最も多い理由となっている。

〔職業別〕

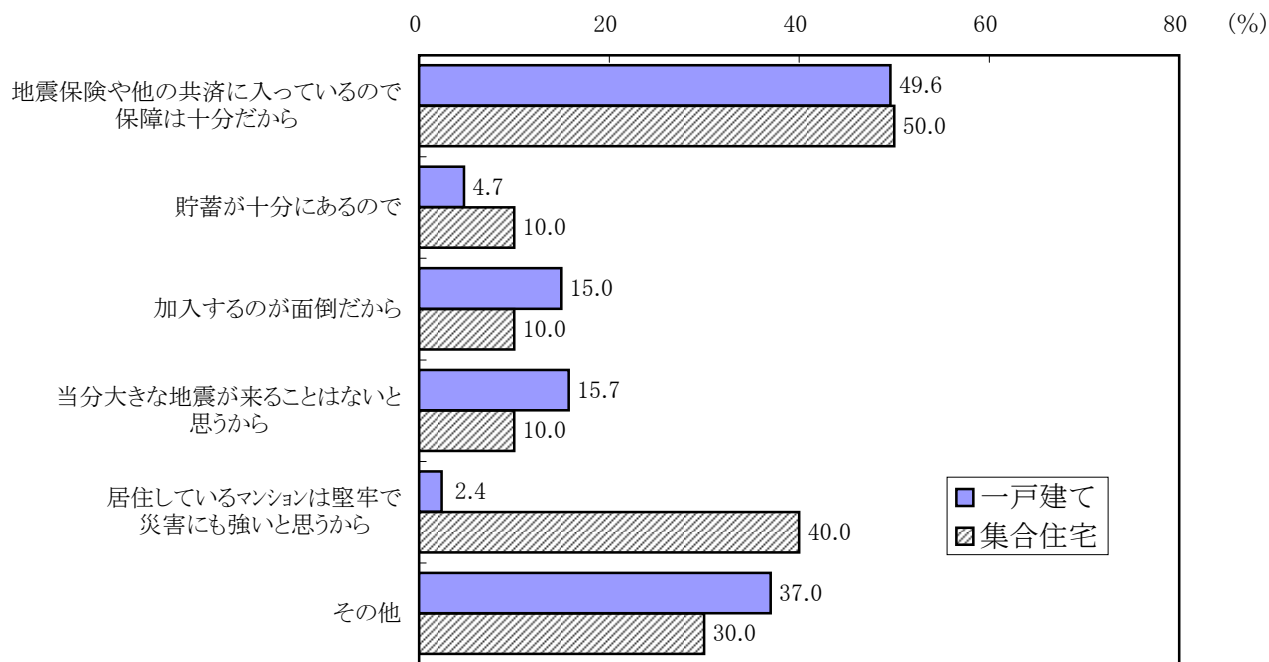


(複数回答)

加入したいと思わない理由を住宅形態別にみると、住宅所有者では「地震保険や他の共済に入っているので保障は十分だから」が「一戸建て」、「集合住宅」の別にかかわらず、約半数と多くになっているが、「集合住宅」では4割が「居住しているマンションは堅牢で災害にも強いと思うから」という理由をあげている。

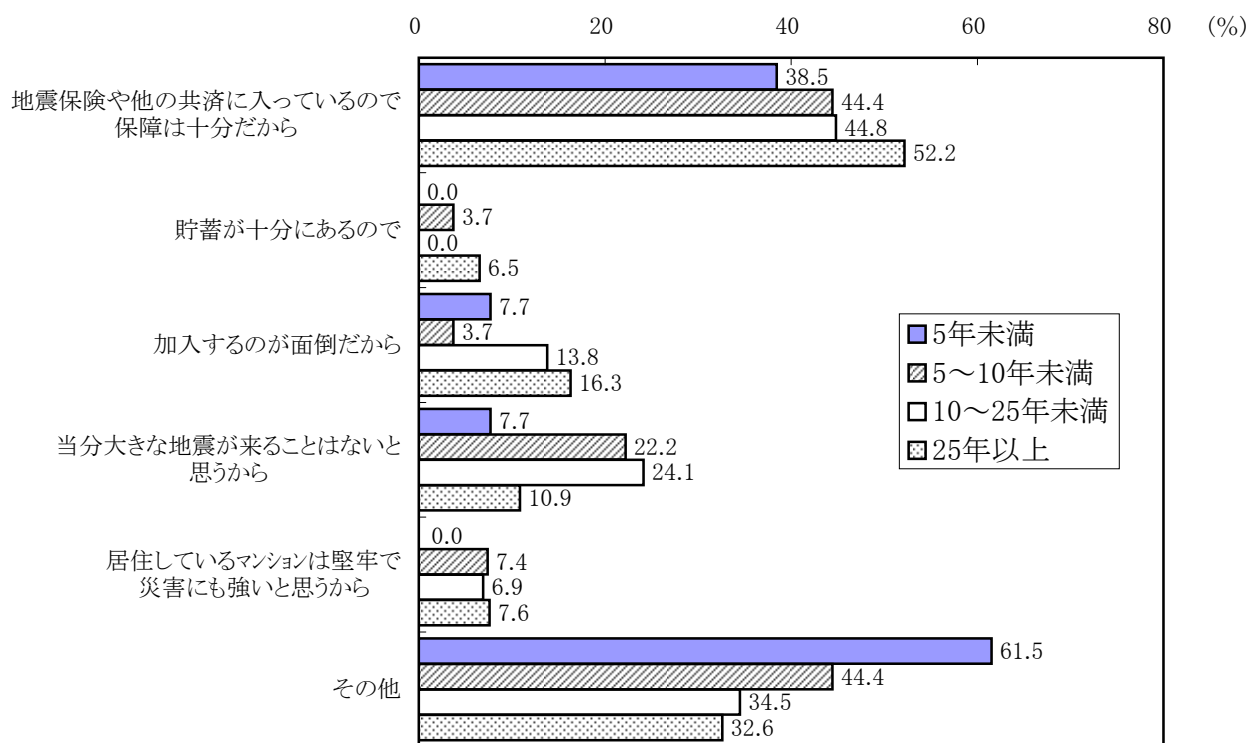
住宅の築年数別では「地震保険や他の共済に入っているので保障は十分だから」という理由は築年数が長いほど多くなっており、「当分大きな地震が来ることはないと思うから」については「5～10年未満」「10～25年未満」の年数で2割を超えて多くなっている。

〔住宅所有者の住宅形態別〕



(複数回答)

〔住宅の築年数別〕



(複数回答)

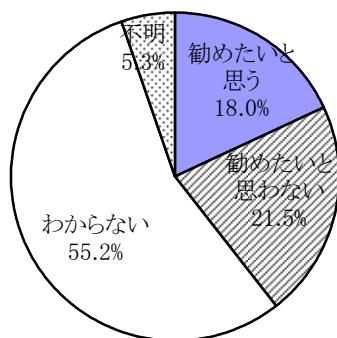


(6) 他の人への推奨の意向

☆未加入者は、「加入を勧めたいと思わない」(2割強)が「勧めたいと思う」(2割弱)をやや上回る

この制度を住宅を持つ親類や知人・友人に勧めたいと思うかをたずねると、「勧めたいと思わない」という回答が21.5%で、「勧めたいと思う」18.0%を上回った。半数以上の55.2%は「わからない」と回答している。

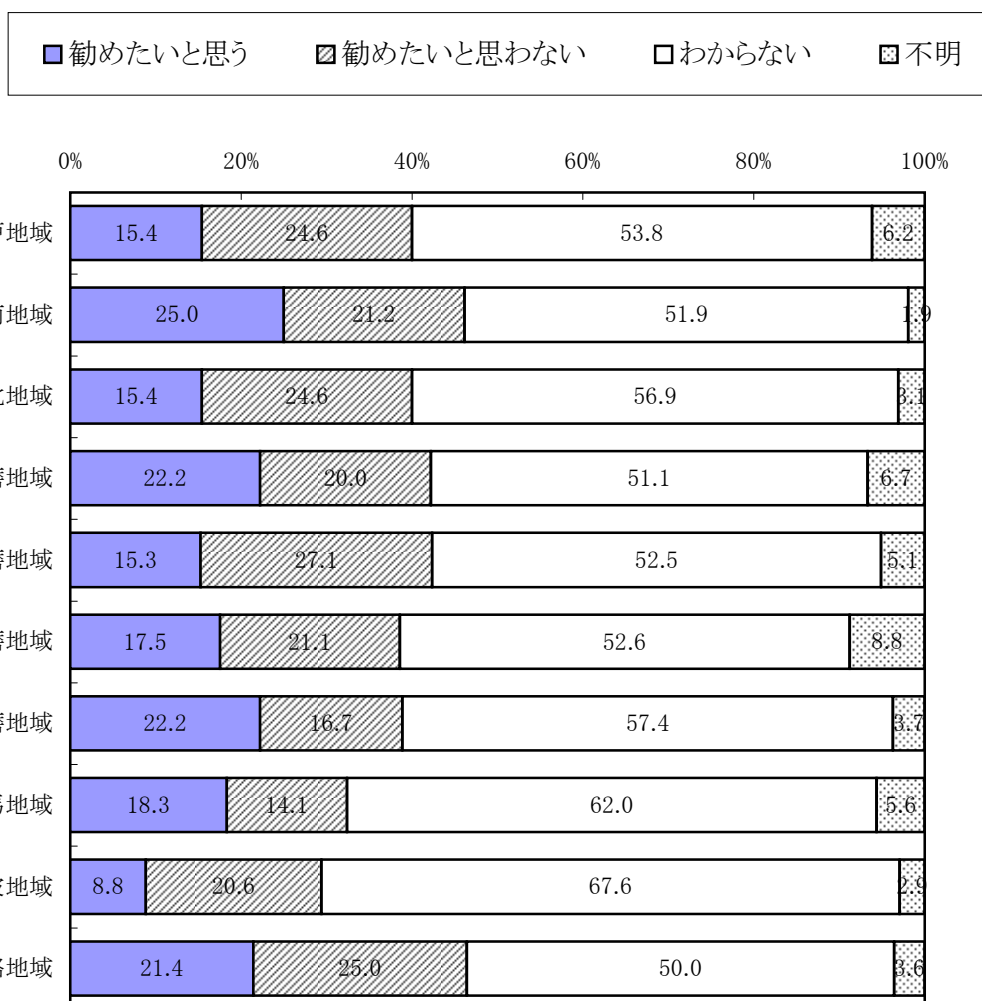
地域別にみると、推奨の意向が高かったのは阪神南(25.0%)、東播磨(22.2%)、西播磨(22.2%)、淡路(21.4%)などで比較的高かった。また、阪神南、東播磨、西播磨、但馬では、「勧めたいと思う」という回答が「勧めたいと思わない」という回答を上回った。



勧めたい主な理由(自由回答)

- ・負担額が少ないので
- ・共助の制度だから

[地域別]

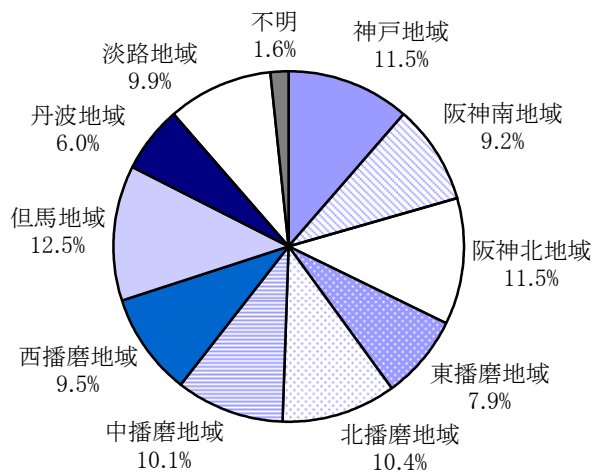


## (7) 回答者の属性

### ①住所

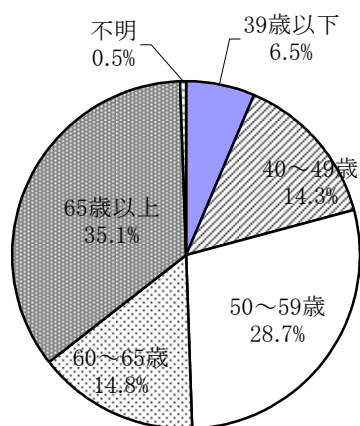
今回の調査の回答者数(未加入者)は567名。兵庫県下の10地域の全てから、それぞれ1割程度の回答が得られ、加入者とはほぼ同じ傾向となっている。

	件	%
全体	567	100.0
神戸地域	65	11.5%
阪神南地域	52	9.2%
阪神北地域	65	11.5%
東播磨地域	45	7.9%
北播磨地域	59	10.4%
中播磨地域	57	10.1%
西播磨地域	54	9.5%
但馬地域	71	12.5%
丹波地域	34	6.0%
淡路地域	56	9.9%
不明	9	1.6%



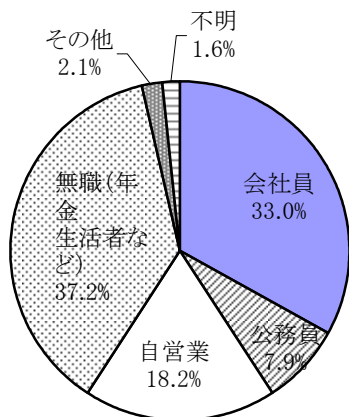
### ②年齢

年齢は65歳以上が最も多く、35.1%。60～65歳(14.8%)と合わせて49.9%が60代以上であった。50～59歳は28.7%、40～49歳は14.3%、39歳以下の若い層は6.5%であった。



### ③職業

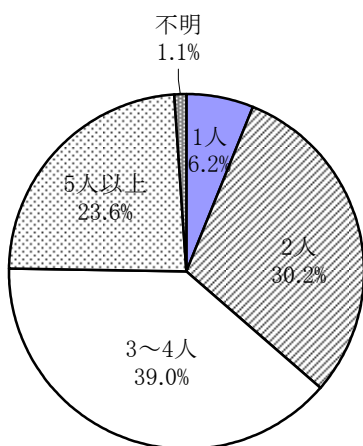
職業区分で最も多かったのは加入者と同様に「無職(年金生活者など)」で37.2%を占めている。次いで「会社員」が33.0%、「自営業」が18.2%、「公務員」が7.9%の順であった。



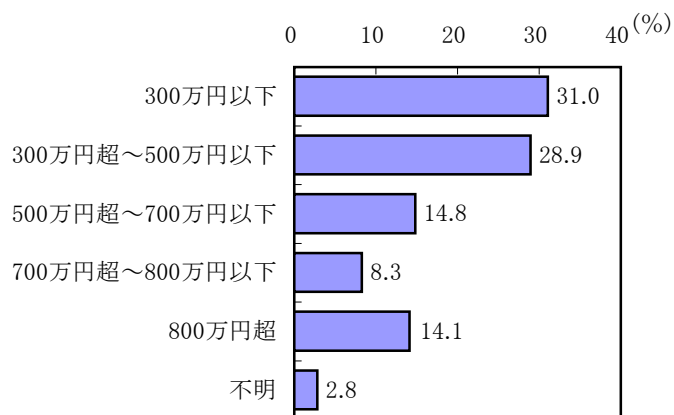
### ④世帯の状況

未加入者の1世帯あたりの人数は、「3～4人」が最も多く39.0%、「2人」が30.2%、「5人以上」が23.6%、「1人」の世帯は6.2%であり、加入者とほぼ同じ傾向となっている。

また、世帯の年収は、「300万円以下」が31.0%、ほぼ並んで「300万円超～500万円以下」が28.9%で、加入者と同様に合わせて約6割(59.9%)が「500万円以下」の世帯となっている。



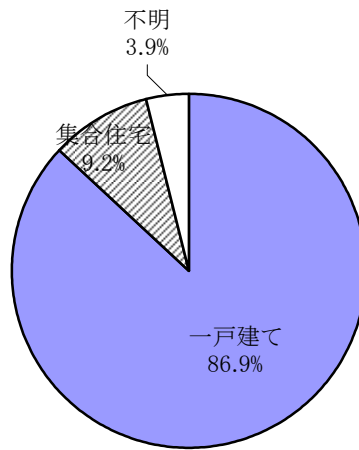
(1世帯あたりの人数)



(世帯の収入)

### ⑤住宅の形態

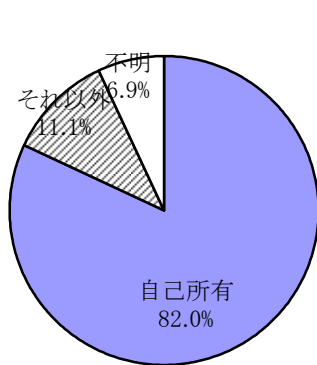
住宅の形態は、「一戸建て」が86.9%を占めており、「集合住宅」は9.2%で、加入者に比べると集合住宅の比率が高くなっている。



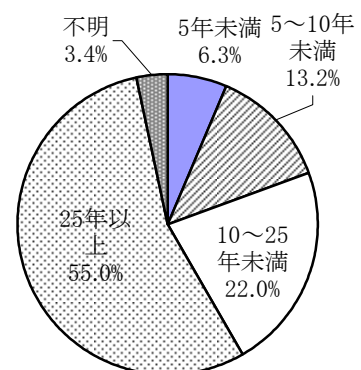
### ⑥住宅の所有状況、築年数

住宅の所有状況は、「自己所有」が82.0%を占め、「それ以外」は11.1%となっている。「それ以外」の内訳では、約半数が「民間賃貸住宅」であった。

住宅の築年数は、「25年以上」が半数以上の55.0%を占めており、「10～25年未満」が22.0%、10年未満の住宅は合わせて19.5%となっている。



(住宅の状況)



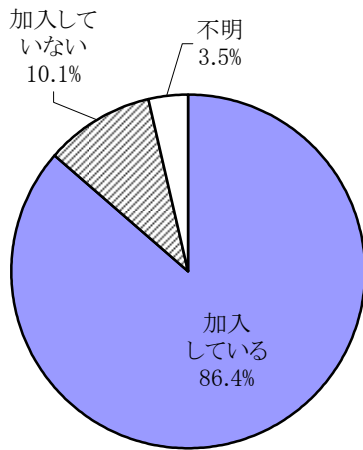
(築年数)

賃貸の内訳	件数	%
全体	63	100.0
民間賃貸住宅	32	50.8
公団、公営住宅	11	17.5
社宅、職員住宅、寮等	3	4.8
その他	15	23.8
不明	2	3.2

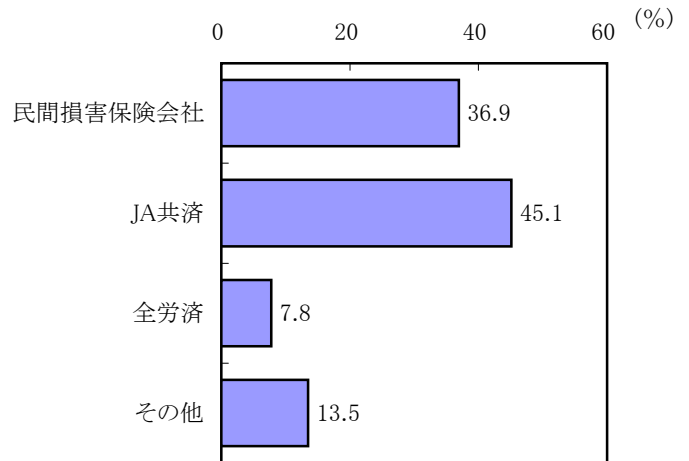
### ⑦損害保険等の加入

現在居住している住宅について、損害保険等に「加入している」という回答が全体の86.4%で、制度の加入者に比べて加入率が低い傾向となっている。

保険会社等の内訳は、「JA共済」が最も多く45.1%、次いで「民間損害保険会社」の36.9%、「全労災」の7.8%と続いている。



(損害保険等への加入状況)

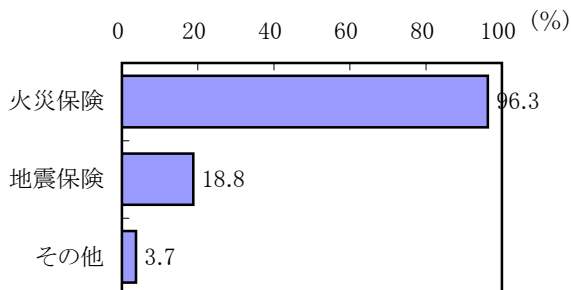


(損害保険会社等:複数回答)

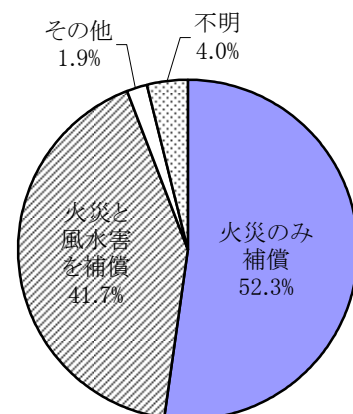
### ⑧加入している保険の種類

損害保険等加入者のうち、火災保険への加入は96.3%で、地震保険への加入は18.8%となっている。制度の加入者に比べて地震保険への加入率が低い傾向となっている。

火災保険の補償内容をたずねると、半数以上は、「火災のみ補償」(52.3%)であり、「火災と風水害を補償」という回答は41.7%で、加入者とほぼ同じ傾向であった。



(加入している保険の種類:複数回答)



(火災保険の補償内容)

# 調查票

(既加入者用)

**【加入者用】兵庫県住宅再建共済制度「フェニックス共済」に関する調査票④**

兵庫県住宅再建共済制度にご加入いただき誠にありがとうございます。

**【調査の趣旨】**

- 兵庫県住宅再建共済制度「フェニックス共済」は、阪神・淡路大震災で学んだ教訓「助け合いの大切さ」を生かした住宅所有者間の「共助」の仕組みとして兵庫県が条例に基づいて実施しているものです。
- 財団法人兵庫県住宅再建共済基金は共済制度の運営を条例により県から委託されています。
- 今後、より多くの県民の皆様がこの制度を知っていただき、ご加入いただくとともに、よりよい制度としていくために加入者の皆様のご意見をお伺いすることといたしました。
- 今回、加入者の皆様の中からあなたを回答者の1人選ばせていただきました。ご多忙中まことに恐縮ですが、ぜひご回答いただきますようお願いいたします。

平成 18 年 1 0 月 兵庫県県土整備部復興局復興支援課  
(財)兵庫県住宅再建共済基金

この調査にご回答いただくことにより、個人のお名前や回答が外部に漏れたり、この調査の目的以外に使用されることはありません。

**【ご記入にあたってのお願い】**

- ★ ご回答は、世帯主の方がご記入いただきますようお願いいたします。
- ★ ご記入いただきました調査表は、同封の返信用封筒に入れて、お手数ですが、10月20日(金)までにご投函願います。
- ★ 質問内容についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。  
(財)兵庫県住宅再建共済基金企画管理課(担当：中村)

TEL 078-341-7711 (内線3688)

- ★ 兵庫県住宅再建共済制度「フェニックス共済」については、同封した加入ご案内のほか、下記のホームページに掲載しております。

URL <http://web.pref.hyogo.jp/wd34/phoenixkyosai.html>

**【加入者用】兵庫県住宅再建共済制度「フェニックス共済」に関する調査票 A**

★ 制度に加入されていない方は、調査票B(未加入者用)に記入してください。

**【調査の趣旨】**

- 兵庫県住宅再建共済制度「フェニックス共済」は、阪神・淡路大震災で学んだ教訓「助け合いの大切さ」を生かした住宅所有者間の「共助」の仕組みとして兵庫県が条例に基づいて実施しているものです。
- 財団法人兵庫県住宅再建共済基金は共済制度の運営を条例により県から委託されています。
- 今後、より多くの県民の皆様がこの制度を知っていただき、ご加入いただくとともに、よりよい制度としていくために県民の皆様のご意見をお伺いすることといたしました。
- 今回、県民の皆様の中からあなたを回答者の1人に選ばせていただきました。ご多忙中まことに恐縮ですが、ぜひご回答いただきますようお願いいたします。
- なお、この調査票は、住宅をお持ちの方以外にも配付しておりますが、住宅をお持ちでない方のご意見もいただき、広く県民の皆様のご意見を反映させたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成 18 年 10 月 兵庫県県土整備部復興局復興支援課  
(財)兵庫県住宅再建共済基金

この調査にご回答いただくことにより、個人のお名前や回答が外部に漏れたり、この調査の目的以外に使用されることはありません。

**【ご記入にあたってのお願い】**

- ★ ご回答は、世帯主の方がご記入いただきますようお願いいたします。
- ★ ご記入いただきました調査表は、同封の返信用封筒に入れて、お手数ですが、10月20日（金）までにご投函願います。
- ★ 質問内容についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。  
(財)兵庫県住宅再建共済基金企画管理課(担当：中村)  
TEL 078-341-7711 (内線3688)
- ★ 兵庫県住宅再建共済制度「フェニックス共済」については、同封した加入ご案内のほか、下記のホームページに掲載しております。  
URL <http://web.pref.hyogo.jp/wd34/phoenixkyosai.html>



Q 1

制度に加入をしようと思った動機は何でしょうか。該当する番号全てに○印をつけてください。

- 1 負担金（年 5,000 円）と給付額（最高 600 万円）が妥当だから
- 2 地震保険や貯蓄だけでは住宅再建が困難だから
- 3 自分のためにもなり人のためにもなる「共助」の制度だから
- 4 知人・友人から加入を勧められたから
- 5 その他 具体的に（ ）

Q 2

加入申込書についてお聞きします。該当するところに○印をつけてください。

項 目	知っている	知らない
A 加入申込書全般	1	2
a 加入者欄	1	2
b 加入対象の住宅欄	1	2
c 預金口座振替依頼書 ・自動払込利用申込書欄	1	2
d 捺印する場所	1	2
B Q&A	1	2
C 制度の内容	1	2
D 約款の内容	1	2
E 約款の文字	1	2
F 共済給付金の請求方法	1	2

Q 3

この制度に加入されてどの程度満足されていますか。10点満点で評価してください。（該当するところを一つずつ選んで○をつけてください。）

項 目	満 足 度									
	低い 高い									
A 安心感	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
B 助け合いへの参加	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

Q 4

住宅再建共済制度について以下のことについてご存じですか。該当のところに○をつけてください。

項 目	知っている	知らない
A マンション等の集合住宅の所有者でも加入 することができる	1	2
B 建物所有者以外が加入費用を負担できる (管理組合が負担、子供が親の住宅について負担等)	1	2
C 賃貸住宅の所有者(大家)が加入できる	1	2
D 1住居1口しか加入できない	1	2
E 給付されるのは半壊以上の被害を受けた場合	1	2

Q 5

この制度をどのようにしてお知りになりましたか。該当のところを○で囲んでください。

- 1 パンフレット
- 2 ちらし
- 3 ポスター
- 4 広報紙
  - ① 県の広報紙(県民だよりひょうご、ニューひょうごなど)
  - ② 市町の広報紙
  - ③ 団体等の広報紙
- 5 新聞
- 6 テレビ
- 7 CATV(ケーブルテレビ)
- 8 ラジオ
- 9 知人・友人
- 10 その他( )

Q 6

加入申込書をどのようにして入手されましたか。該当のところを○で囲んでください。

- 1 銀行窓口
- 2 郵便局窓口
- 3 農協窓口
- 4 県の窓口
- 5 市町の窓口
- 6 団体から入手
  - ① 自治会
  - ② 婦人会
  - ③ 労働組合
  - ④ 勤務先
  - ⑤ その他 ( )
- 7 鉄道駅 (ラック等)
- 8 イベント会場
- 9 知人・友人から入手
- 10 その他 (具体的に : )

Q 7

この制度について、住宅を持っている親類や知人・友人に制度を勧めたいと思いますか。該当するもの一つに○印をつけてください。

- 1 勧めたいと思う  
(理由 : )
- 2 勧めたいと思わない  
(理由 : )
- 3 わからない  
(理由 : )



次に世帯主の方についてお答えください。

(※該当するところに○をつけてください)

(お答えいただいた回答を統計的に分析するための項目です)

F 1 どちらにお住まいですか。

( ) 市・町

F 2 年齢をお答えください。

- 1 39 歳以下
- 2 40～49 歳
- 3 50～59 歳
- 4 60～65 歳
- 5 65 歳以上

F 3 職業をお答えください。

- 1 会社員
  - ① フルタイム
  - ② パートタイム
- 2 公務員
- 3 自営業
- 4 無職 (年金生活者など)
- 5 その他 ( )

F 4 世帯の人数についてお答えください。

- 1 1 人
- 2 2 人
- 3 3～4 人
- 4 5 人以上

F 5 世帯の年収についてお答えください。

- 1 300 万円以下
- 2 300 万円超～500 万円以下
- 3 500 万円超～700 万円以下
- 4 700 万円超～800 万円以下
- 5 800 万円超

F 6 所有されている住宅についてお答えください。

A 住宅の形態

- 1 一戸建て
- 2 集合住宅 ( ) 階建

※複数の住宅をお持ちの場合は、  
いずれか1つに絞ってご記入ください。

B 住宅の構造

- 1 木造
- 2 非木造

C 住宅の状況

- 1 自己居住用の住宅
- 2 賃貸用の住宅

D 築年数

- 1 5年未満
- 2 5～10年未満
- 3 10～25年未満
- 4 25年以上

F 7 所有されている住宅について損害保険等に加入していますか。

- 1 加入している
- 2 加入していない

どのような保険ですか (複数回答可)

- 1 火災保険
- 2 地震保険
- 3 その他 ( )

保険会社等はどこですか

- 1 民間損害保険会社
- 2 J A 共済
- 3 全労済
- 4 その他 ( )

火災保険は、どのような補償内容になっていますか。一つ選んで○印をつけてください。

- 1 火災のみ補償
- 2 火災と風水害を補償
- 3 その他 ( )

アンケート調査の結果はホームページ等でご報告いたします。  
ご協力ありがとうございました。

【未加入者用】兵庫県住宅再建共済制度「フェニックス共済」に関する調査票 B

★ 制度に加入されている方は、調査票 A (加入者用) に記入してください。

【調査の趣旨】

- 兵庫県住宅再建共済制度「フェニックス共済」は、阪神・淡路大震災で学んだ教訓「助け合いの大切さ」を生かした住宅所有者間の「共助」の仕組みとして兵庫県が条例に基づいて実施しているものです。
- 財団法人兵庫県住宅再建共済基金は共済制度の運営を条例により県から委託されています。
- 今後、より多くの県民の皆様がこの制度を知っていただき、ご加入いただくとともに、よりよい制度としていくために県民の皆様のご意見をお伺いすることといたしました。
- 今回、県民の皆様の中からあなたを回答者の 1 人に選ばせていただきました。ご多忙中まことに恐縮ですが、ぜひご回答いただきますようお願いいたします。
- なお、この調査票は、住宅をお持ちの方以外にも配付しておりますが、住宅をお持ちでない方のご意見もいただき、広く県民の皆様のご意見を反映させたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成 18 年 10 月 兵庫県県土整備部復興局復興支援課  
(財)兵庫県住宅再建共済基金

この調査にご回答いただくことにより、個人のお名前や回答が外部に漏れたり、この調査の目的以外に使用されることはありません。

【ご記入にあたってのお願い】

- ★ ご回答は、世帯主の方がご記入いただきますようお願いいたします。
- ★ ご記入いただきました調査表は、同封の返信用封筒に入れて、お手数ですが、10月20日（金）までにご投函願います。
- ★ 質問内容についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。  
(財)兵庫県住宅再建共済基金企画管理課(担当：中村)  
Tel 078-341-7711 (内線3688)
- ★ 兵庫県住宅再建共済制度「フェニックス共済」については、同封した加入ご案内のほか、下記のホームページに掲載しております。

URL <http://web.pref.hyogo.jp/wd34/phoenixkyosai.html>

Q 1

住宅再建共済制度（フェニックス共済）についてご存じですか。該当するところに○印をつけてください。

1 知っている                      2 知らない      → 次ページのQ 3へ



Q 2

この制度をどのようにしてお知りになりましたか。該当のところを○で囲んでください。

制度を紹介しているもの	見た・聞いた	知らない
A パンフレット	1	2
B ちらし	1	2
C ポスター	1	2
D 広報誌		
a 県の広報紙 (県民だよりひょうご、ニューひょうごなど)	1	2
b 市町の広報紙	1	2
c 団体等の広報紙	1	2
E 新聞	1	2
F テレビ	1	2
G CATV (ケーブルテレビ)	1	2
H ラジオ	1	2
I 知人・友人	1	2
J その他 (                      )	1	2



・次の説明をお読みいただき、Q3以下の説明にお答えください。

**【兵庫県住宅再建共済制度（愛称：フェニックス共済）について】**

- 1 兵庫県が、阪神・淡路大震災で学んだとともに助け合い、支え合うことの大切さを、将来の災害への備えに生かす仕組みとして、平成17年9月から、スタートした制度です。
- 2 本制度は、住宅所有者が平常時に寄せ合う資金により、被災者の住宅再建を支援する相互扶助の制度です。年額5,000円という小さな負担で、最高600万円の給付金が支払われます。
- 3 地震のみならず、風水害や大雪など、あらゆる自然災害が対象になります。また、既に地震保険や他の共済にお入りの方も、それらにプラスしてご加入いただけますので一層の安心が確保できます。

**Q3**

将来この制度に加入したいと思いますか。次の中から一つ選んで番号に○印をつけてください。

- 1 思う
- 2 思わない
- 3 わからない

**Q4**

加入したいと思うのはなぜでしょう。該当する番号全てに○印をつけてください。（複数回答可）

- 1 負担金（年5,000円）と給付額（最高600万円）が妥当だから
- 2 地震保険や貯蓄だけでは住宅再建が困難だから
- 3 自分のためにもなり人のためにもなる「共助」の制度だから
- 4 その他 具体的に（ ）

**Q5**

加入したいと思わないのはなぜでしょう。該当する番号全てに○印をつけてください。（複数回答可）

- 1 地震保険や他の共済に入っているので保障は十分だから
- 2 貯蓄が十分にあるので
- 3 加入するのが面倒だから
- 4 当分大きな地震が来ることはないと思うから
- 5 居住しているマンションは堅牢で災害にも強いと思うから
- 6 その他（具体的に： ）

Q 6

この制度について、住宅を持っている親類や知人・友人に制度を勧めたいと思いますか。該当するもの一つに○印をつけてください。

1 勧めたいと思う  
(理由： )

2 勧めたいと思わない  
(理由： )

3 わからない  
(理由： )

【その他】

住宅再建共済制度についてご意見がありましたらご自由にお書きください。

---

---

---

---

---

---

---

---

次に世帯主の方についてお答えください。

(※該当するところに○をつけてください)

(お答えいただいた回答を統計的に分析するための項目です)

F 1 どちらにお住まいですか。

( ) 市・町

F 2 年齢をお答えください。

- 1 39 歳以下
- 2 40～49 歳
- 3 50～59 歳
- 4 60～65 歳
- 5 65 歳以上

F 3 職業をお答えください。

- 1 会社員
  - ① フルタイム
  - ② パートタイム
- 2 公務員
- 3 自営業
- 4 無職 (年金生活者など)
- 5 その他 (具体的に : )

F 5 世帯の人数についてお答えください。

- 1 1 人
- 2 2 人
- 3 3～4 人
- 4 5 人以上

F 5 世帯の年収についてお答えください。

- 1 300 万円以下
- 2 300 万円超～500 万円以下
- 3 500 万円超～700 万円以下
- 4 700 万円超～800 万円以下
- 5 800 万円超

F 6 現在お住まいの住宅についてお答えください。

A 住宅の形態

- 1 一戸建て
- 2 集合住宅 ( ) 階建

B 所有の状況

- 1 自己所有
- 2 それ以外 →

- 1 民間賃貸住宅
- 2 公団、公営住宅
- 3 社宅、職員住宅、寮等
- 4 その他 (具体的に: )

C 築年数

- 1 5年未満
- 2 5～10年未満
- 3 10～20年未満
- 4 20年以上

F 7 居住されている住宅について、損害保険等に加入していますか。

- 1 加入している
- 2 加入していない

どのような保険ですか (複数回答可)

- 1 火災保険
- 2 地震保険
- 3 その他 ( )

保険会社等はどこですか

- 1 民間損害保険会社
- 2 J A 共済
- 3 全労済
- 4 その他 ( )

火災保険は、どのような補償内容になっていますか。一つ○印をつけてください。

- 1 火災のみ補償
- 2 火災と風水害を補償
- 3 その他 ( )

アンケート調査の結果はホームページ等でご報告いたします。  
ご協力ありがとうございました。